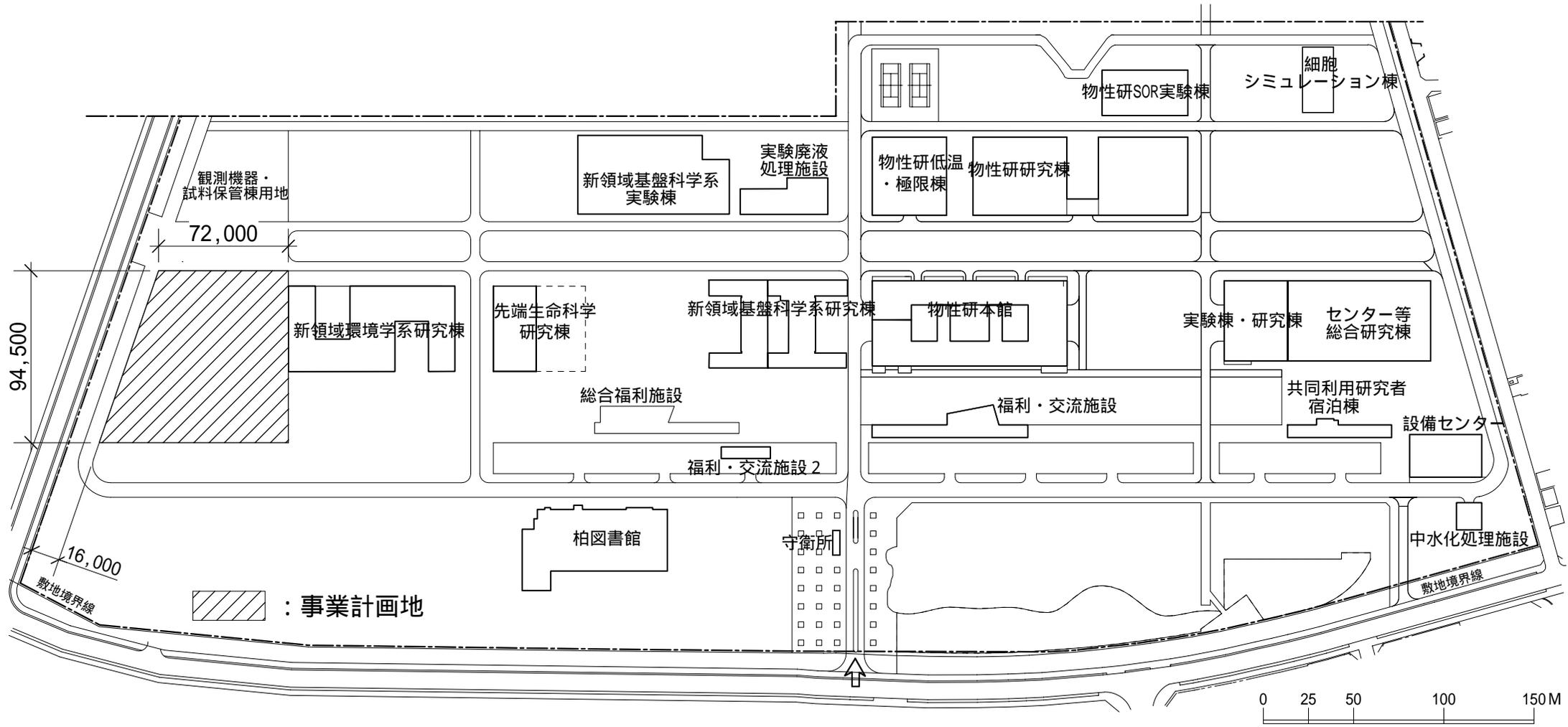


事業計画地案内図

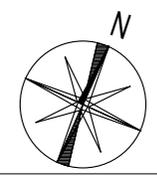
資料1

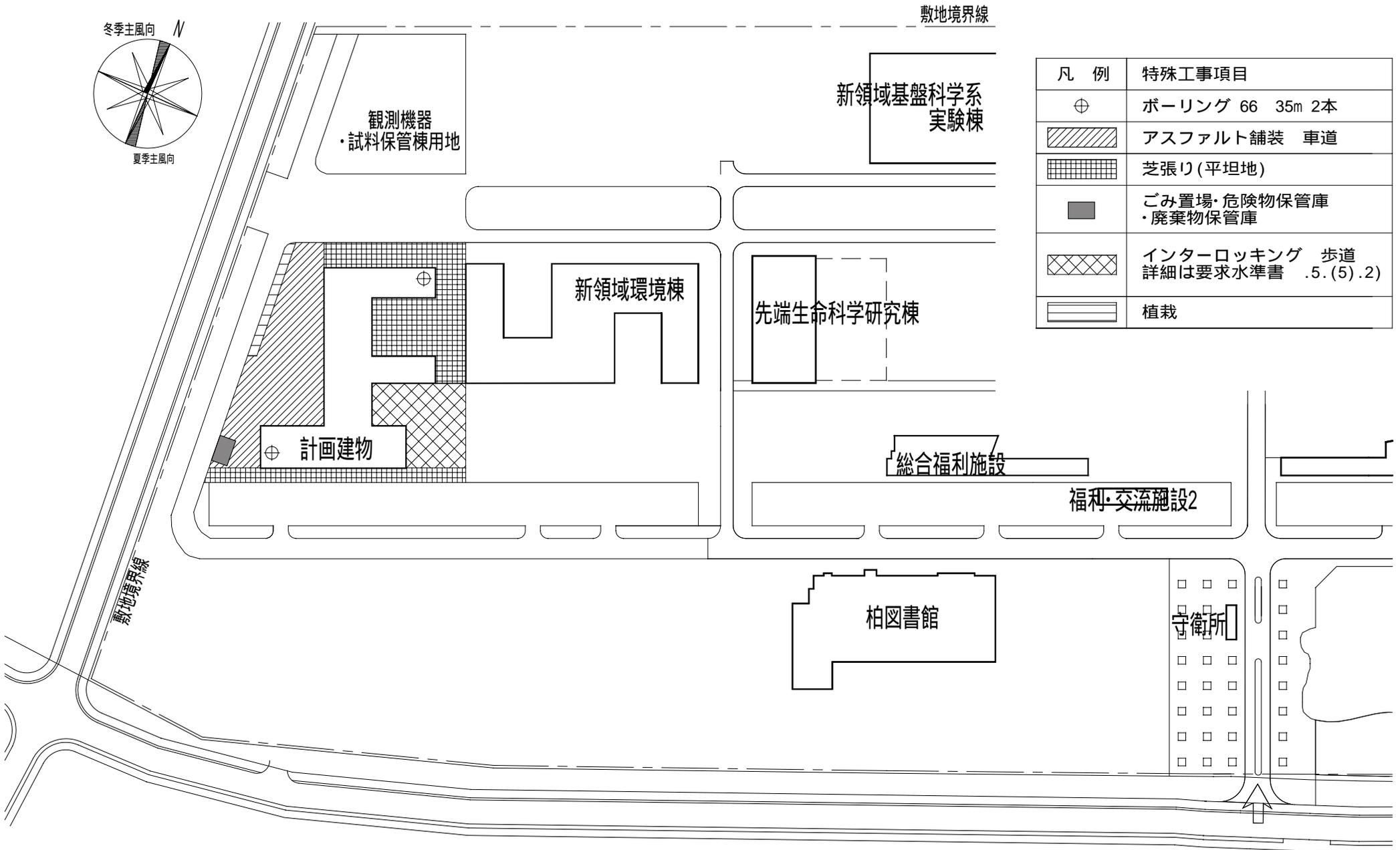


資料 2

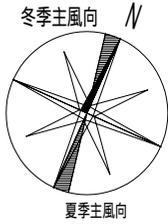
事業計画地位置図

縮尺 1 / 3 0 0 0





敷地境界線



観測機器
・試料保管棟用地

新領域基盤科学系
実験棟

凡 例	特殊工事項目
⊕	ボーリング 66 35m 2本
	アスファルト舗装 車道
	芝張り(平坦地)
	ごみ置場・危険物保管庫 ・廃棄物保管庫
	インターロッキング 歩道 詳細は要求水準書 .5.(5).2)
	植栽

新領域環境棟

先端生命科学研究所

⊕ 計画建物

総合福祉施設

福利・交流施設2

敷地境界線

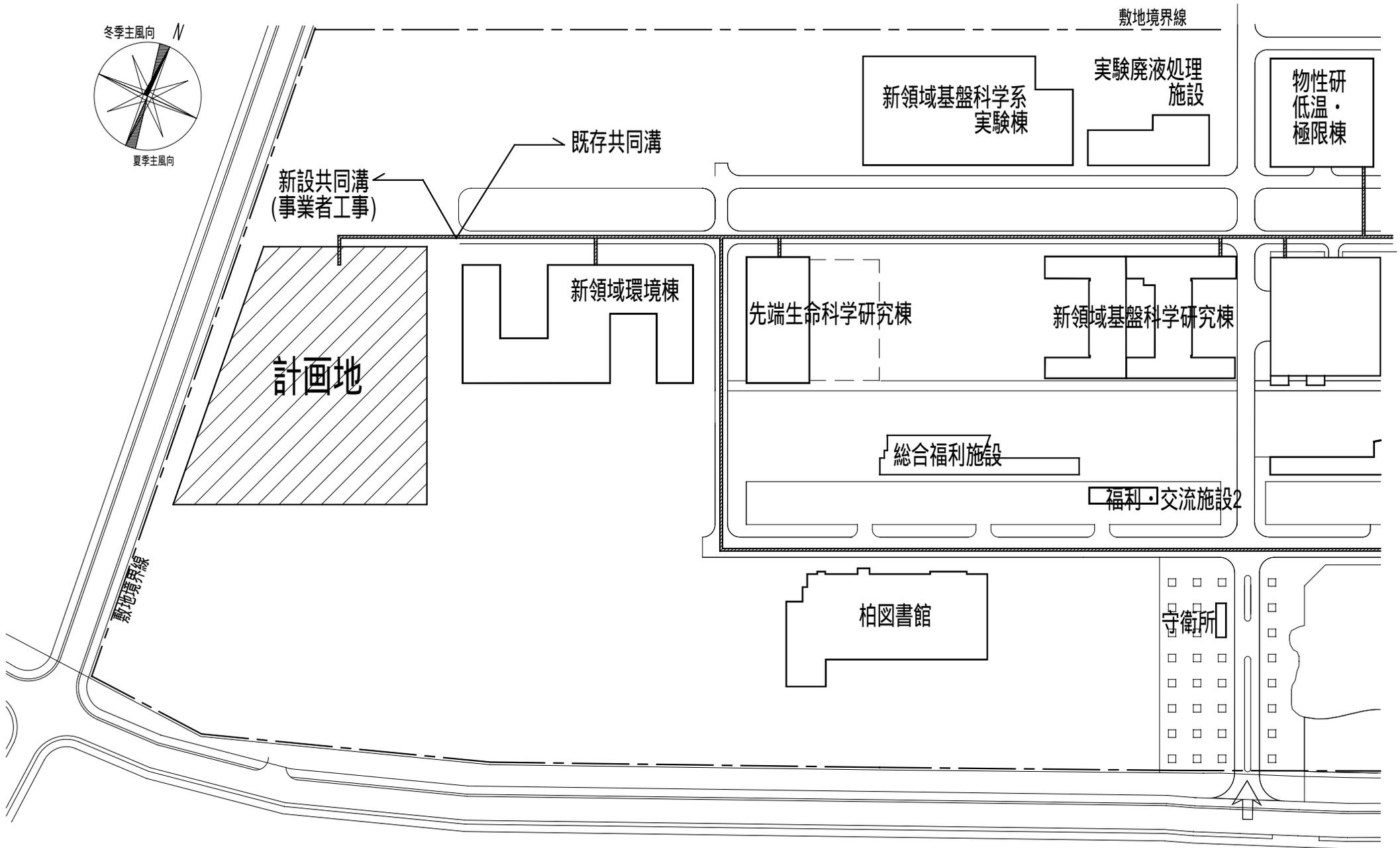
柏図書館

守衛所

資料 3

柏キャンパス 外構計画図

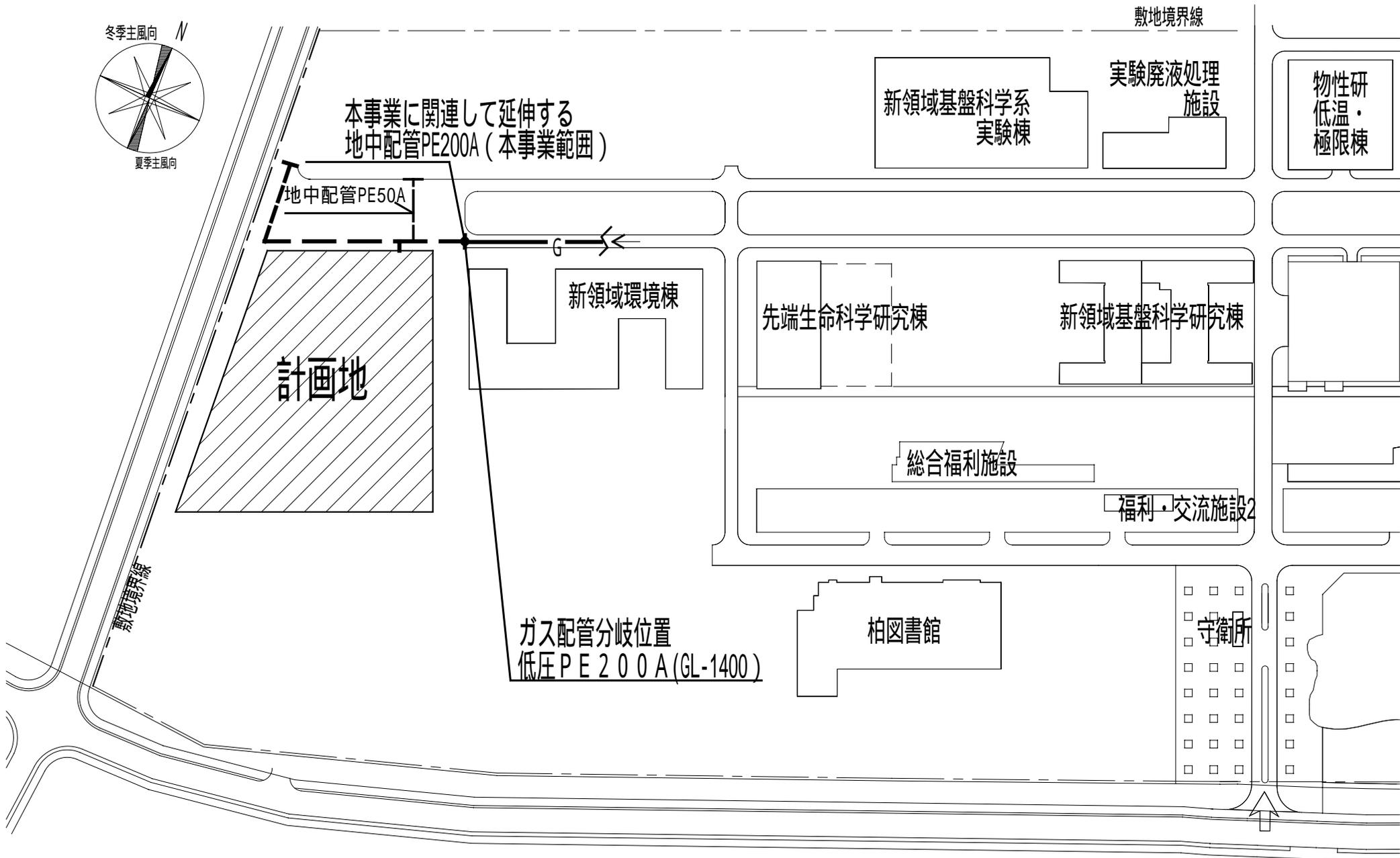
S = 1 : 2 0 0 0



資料 4

柏キャンパス 共同溝計画図

S = 1 : 2000

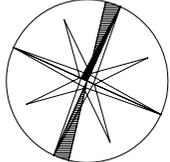


資料 5

柏キャンパス ガス配管分岐位置図

S = 1 : 2000

冬季主風向



夏季主風向

敷地境界線

上水 SGP-FPB 50A (地中配管)
中水 SGP-FPB 50A (地中配管)
井水 SGP-FPB 50A (地中配管)

(各配管ともプラグ止め)

本事業に関連して延伸する
共同溝内配管 (本事業範囲)

計画地

新領域環境棟

新領域基盤科学系
実験棟

実験廃液処理
施設

物性研
低温・
極限棟

先端生命科学
研究棟

新領域基盤科学
研究棟

総合福利施設

福利・交流施設2

上水分岐位置 SGP-FPB 150A (共同溝内)
中水分岐位置 SGP-FPB 150A (共同溝内)
井水分岐位置 SGP-FPB 150A (共同溝内)
(各配管とも共同溝末端まで150Aで延伸)

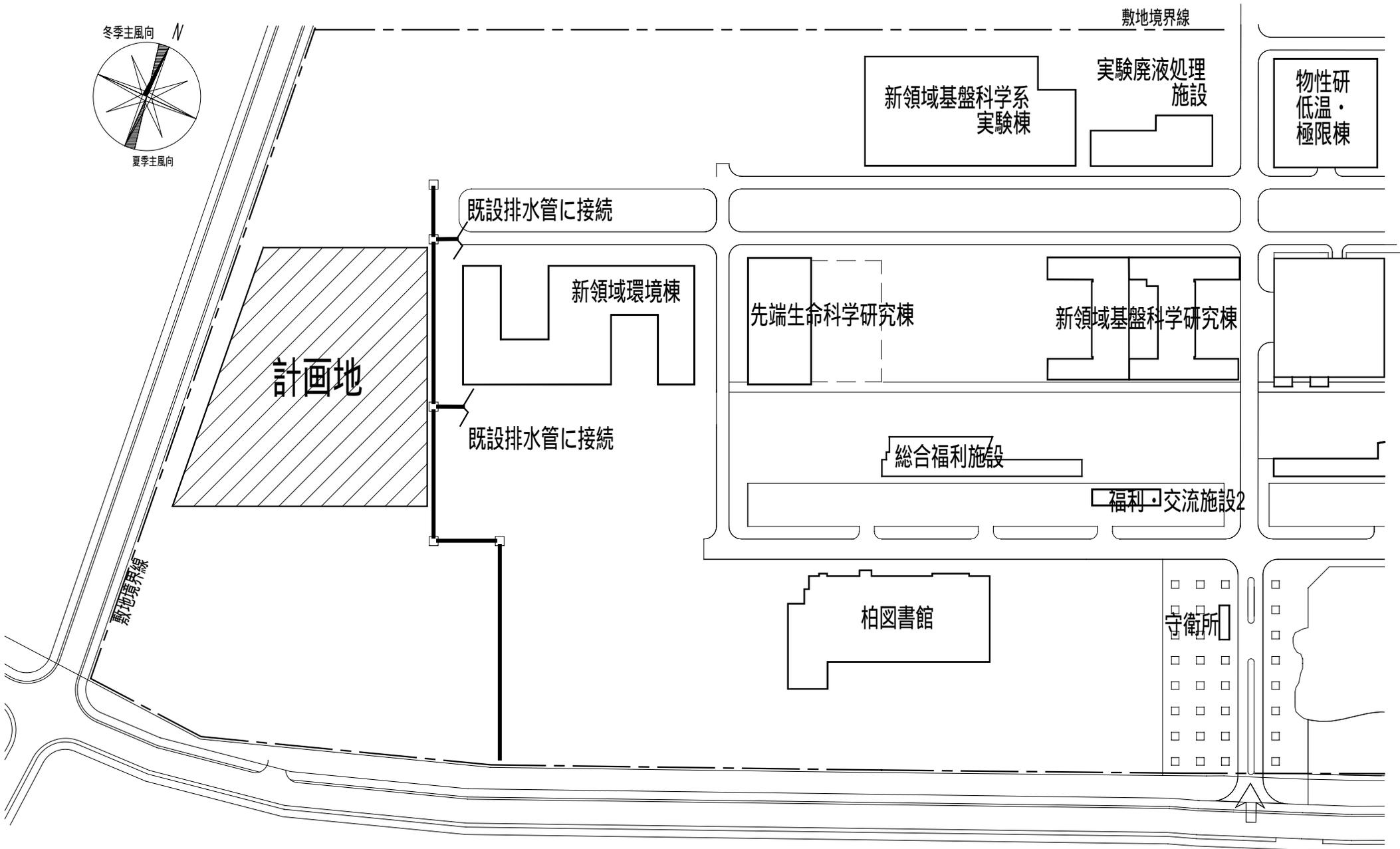
柏図書館

守衛所

資料 6

柏キャンパス 上水・中水・井水配管分岐位置図

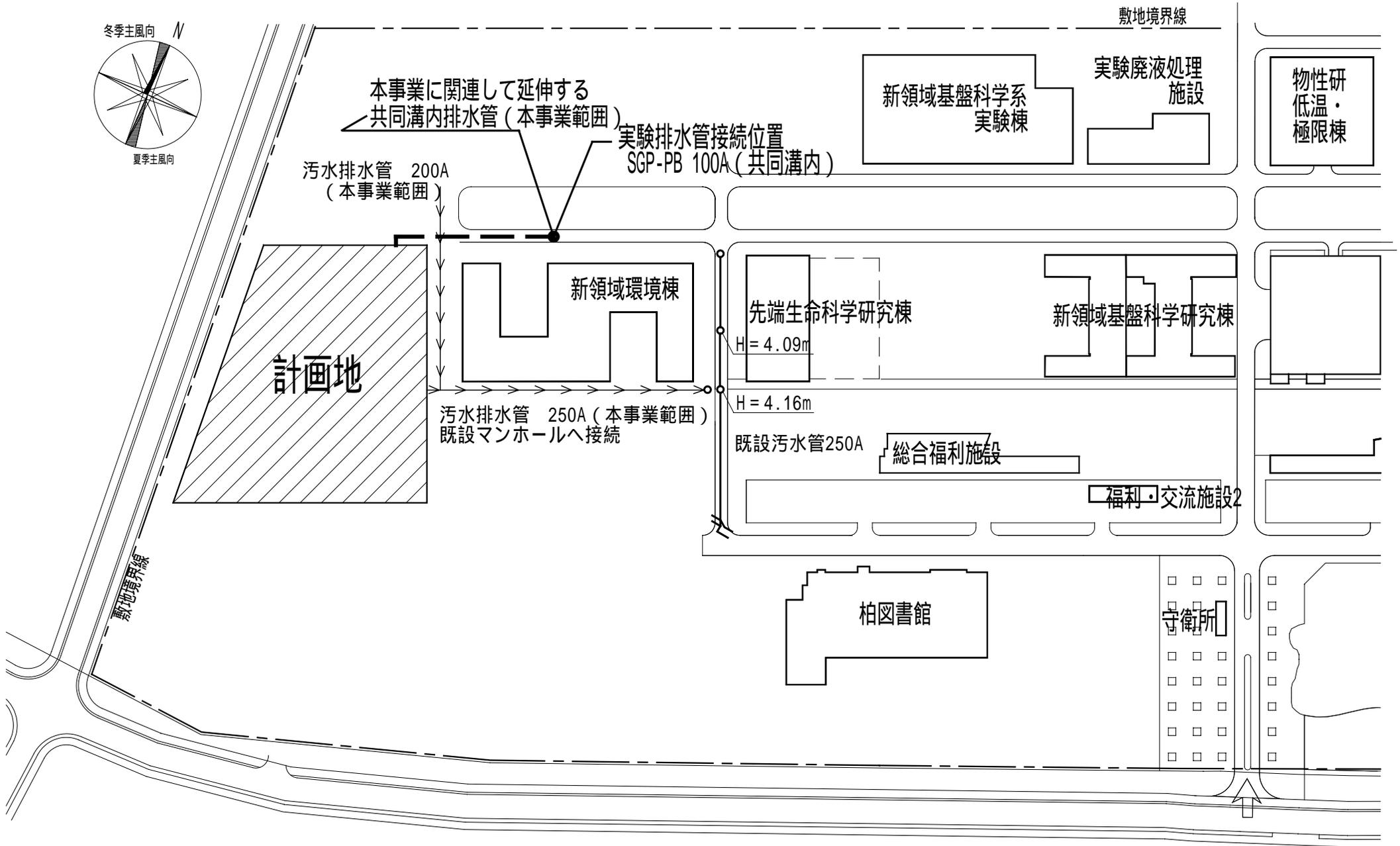
S = 1 : 2000



資料 7

柏キャンパス 雨水排水計画図

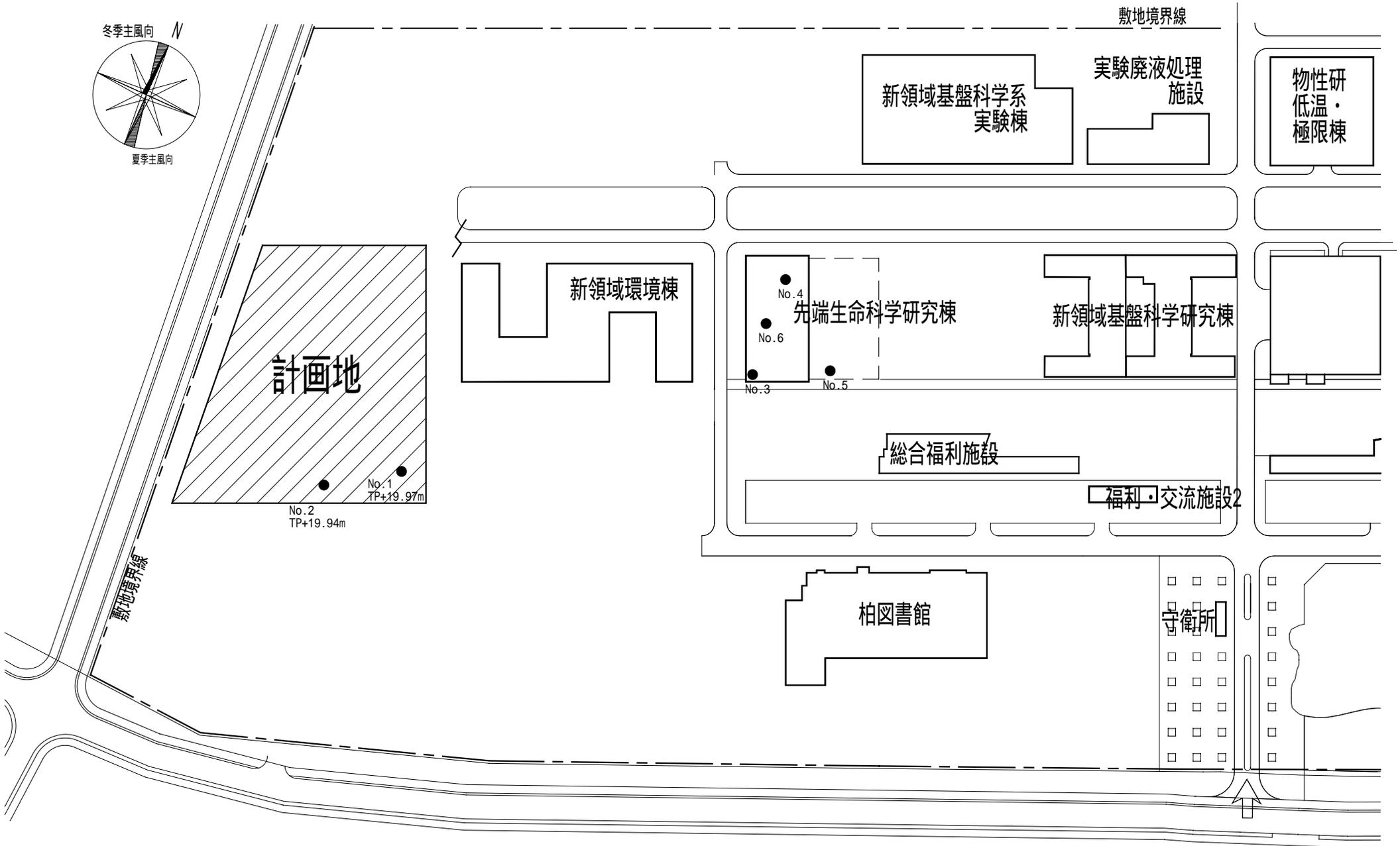
S = 1 : 2000



資料 8

柏キャンパス 汚水排水管・実験排水管接続位置図

S = 1 : 2000



資料 9

柏キャンパス ボーリング調査位置図

S = 1 : 2000

ボーリング柱状図

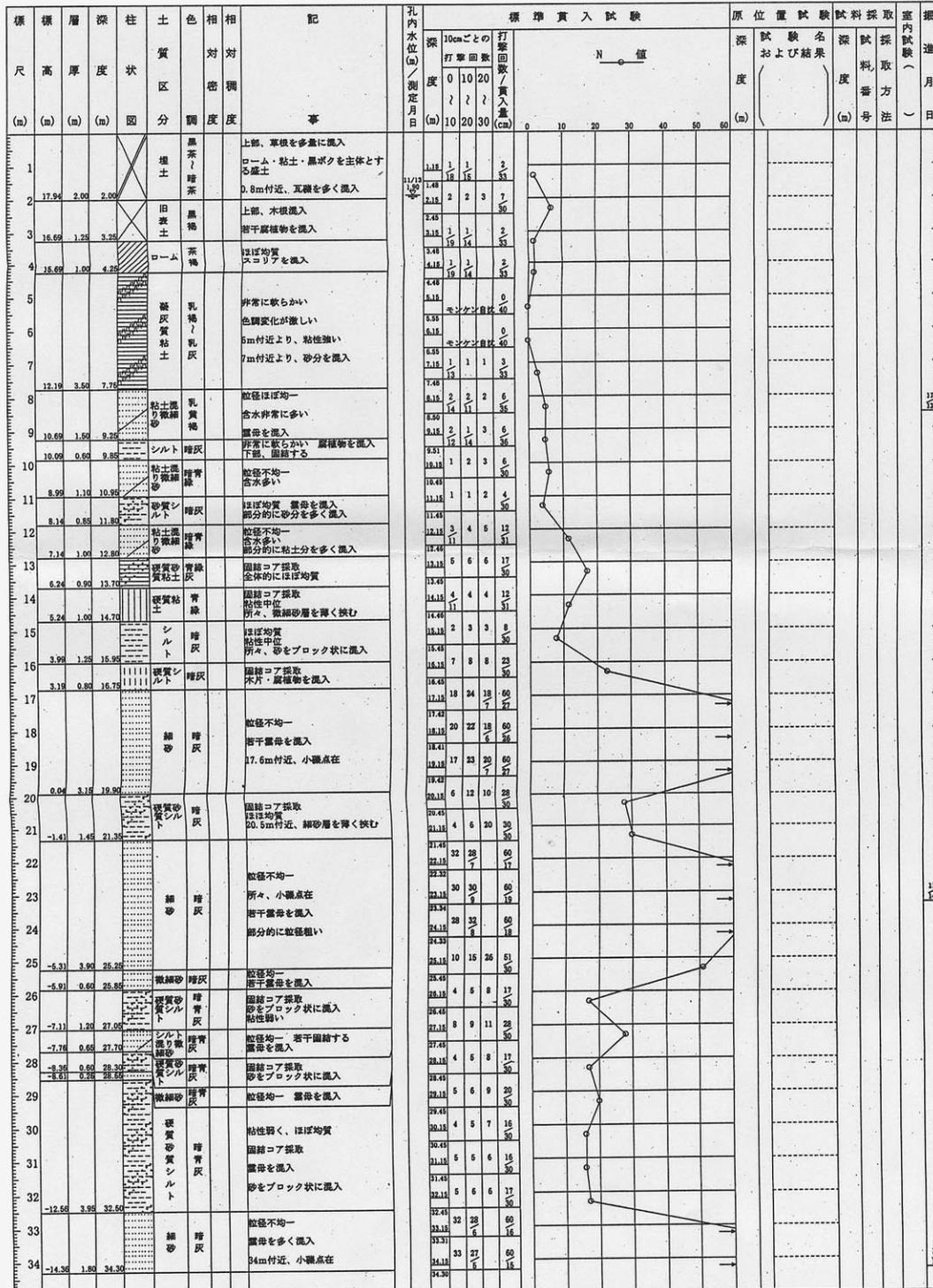
調査名 東京大学(柏)基幹・環境整備に伴う地盤調査

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	NO.2		調査位置	千葉県柏市柏の葉5-1-5(東京大学構内)		北緯	35° 53' 45.9"	
発注機関	東京大学 施設部 建築課		調査期間	平成 13年 11月 13日 ~ 13年 11月 15日		東経	139° 56' 10.3"	
調査業者名	関東地質株式会社 電話(03-3834-0961)		主任技師	高橋 祐司		現代理人	宮沢 康純 コアア 鑑定者 松本 隆史	
ボーリング責任者	中村 学		試験機	KR-100		ハンマー	落下用具	
孔口標高	TP	+19.94m	角	北0° 90° 東 西180° 南		エンジン	NFD10	
総掘進長	34.30m		地盤勾配	水平0°		ポンプ	V-6	



No. 2

関東地質株式会社

土 質 柱 状 図

調査名 東京大学新領域創成科学研究科棟新館に伴う地盤調査 調査年月日 平成 11年 5月 25日
 調査位置 千歳凱柏市柏の葉5丁目(東京大学構内) ~ 平成 11年 5月 28日
 地点番号 NO.3 標 高 H=19.16 m 機 種 TEC-1型(利根)
 総掘進長 45.28 m 孔内水位 GL-1.20 m 担当者名 松田 秀雄

標 尺	深 度	厚 度	観 察 記 録				標 準 貫 入 試 験				原 位 置 試 験	試 料 採 取	採 取 方 法	進 月 日	
			土 質 記 号	土 質 名	色 調	記 事	深 度	打 撃 回 数	10cmごとの 打撃回数	N 値					
1	18.46	0.70		黄土	暗褐色	ローム主体、植物根混入。	1.15	2	1	1					
2	17.81	1.35		ローム	暗褐色	植物根混入、7割、含水あり、均質である。	1.50	2	1	1					
3	17.46	1.70		ローム	暗褐色	炭化物混入、色調の変化あり。	2.15	1	1	1					
4	16.38	2.80		凝灰質粘土	褐色	炭化物・浮石混入。	2.51	1	1	1					
5	15.16	3.70		粘土	淡褐色	粘性あり。	3.18	1	1	1					
6	14.41	4.75		凝灰質粘土	褐色	炭化物・浮石混入。	3.80	1	1	1					
7	13.21	5.95		細砂	褐色	粒子不均一、含水あり、雲母片混入。所々、淡褐色の粘土を薄く挟む、部分的に茶褐色を混入。	4.15	1	1	1					
8	9.01	10.12		粘土混り細砂	暗褐色	下部、粘土分混入。雲母片混入、小礫混入、全体に粘土分混入。	4.88	1	1	1					
9	7.91	11.25		硬質粘土	緑色	浮石混入、全体に硬質である。	5.15	5	1	2					
10	7.36	11.80		砂混り粘土	緑色	雲母片・炭化物混入、砂分混入。	6.15	3	1	1					
11	6.26	12.90		粘土	暗青灰	雲母片・炭化物混入。	6.45	1	1	1					
12	5.41	13.75		砂質粘土	暗褐色	雲母片・炭化物混入。所々、細砂を薄く挟む。	7.15	1	1	1					
13	4.36	14.80		砂混り粘土	暗褐色	雲母片・炭化物混入、砂分混入。	7.80	4	1	1					
14	3.38	15.80		細砂	暗褐色	1.6.0m、粘土を帯状に薄く挟む。1.7.0m、浮石混入。	8.15	4	1	1					
15	0.38	18.80		有機質粘土	暗褐色	炭化物混入。	8.45	4	1	1					
16	-0.14	19.30		粘土	暗褐色	雲母片・炭化物混入。	8.75	4	1	1					
17	-0.64	19.80		微細砂	暗褐色	粒子不均一、雲母片混入。	9.15	4	1	1					
18	-1.34	20.70		細砂	暗褐色	粒子不均一、雲母片混入、小礫少量混入。	9.47	4	1	1					
19	-5.54	24.70		シルト混り細砂	暗青灰	2.3.25~2.3.5m間、φ10~2.0mmの礫混入。	10.15	4	1	1					
20	-10.34	29.50		砂質シルト	暗青灰	粘土不均一、雲母片・炭化物混入、全体にシルト分混入。所々、シルトを帯状に薄く挟む。	10.45	4	1	1					
21	-12.54	31.70		細砂	暗青灰~暗褐色	粘土不均一、雲母片混入。所々、シルト片混入。	10.75	4	1	1					
22	-13.84	32.80		混り粗砂	暗青灰	粘土不均一、含水あり、φ5~1.5mmの遊目礫混入、全体に非常に密に詰まっている。	11.15	4	1	1					
23	-15.44	34.60		粘土	青灰	全体に硬質である、雲母片・炭化物混入。	11.45	4	1	1					
24	-17.44	36.60		粘土	暗青灰	硬質である、雲母片・炭化物混入。	11.75	4	1	1					
25	-18.34	37.50		粘土	褐色	硬質である、雲母片・炭化物混入。所々、細砂を薄く挟む。	12.15	4	1	1					
26	-19.34	38.50		細砂	暗青灰	粒子不均一、雲母片混入。	12.45	4	1	1					
27	-25.24	44.40		細砂	暗青灰	3.8.5~4.1.6m間、粒子は粗い。	12.75	4	1	1					
28	-28.04	48.00		細砂	暗青灰	全体に非常に密に詰まっている。	13.15	4	1	1					
29	-28.12	48.28		粗砂	暗緑灰	雲母片混入、所々、粘土片混入。	13.45	4	1	1					
30				粗砂	暗褐色	粒子不均一、貝殻片混入。	13.75	4	1	1					

土質柱状図

調査名 東京大学新領域創成科学研究科棟新営に伴う地盤調査
 調査位置 千葉県柏市柏の葉5丁目(東京大学構内)
 地点番号 NO.4
 標高 H=19.08 m
 機種 TDC-1G型(利根)
 総掘進長 37.34 m
 孔内水位 CL -0.97 m
 担当者名 佐々木 秀志
 調査年月日 平成 11年 5月27日
 ~ 平成 11年 6月 1日

標尺 m	深 m	厚 m	観 察 記 録			標 準 貫 入 試 験			原 位 置 試 験 深 度 m	試 料 採 取 深 度 m	試 料 採 取 方 法	掘 進 月 日
			土質記号	土質名	色調	記 事	深 度 m	打撃回数 10cmごとの 打撃回数				
18.38	0.70	0.70	表土	黒灰	砂質粘土主体。							
17.48	1.50	0.80	黒ボク	黒灰	腐植物少量混入。	1.15	2/36	1/19				
			ローム	暗褐灰	粘性強い。 腐植物・炭化物少量混入。 色調不均一。	1.53 2.15	1/60 1/60	1/19		2.15 2.45	2-1	P
16.03	3.05	1.45	凝灰質粘土	淡褐灰	腐植物少量混入。 砂分少量混入。	2.75 3.15	1/60 1/60	1/19		4.15 4.45	2-2	P
14.18	4.90	1.85	粘土	暗灰	腐植物少量混入。	4.00	0/80	モケン目注				
13.78	5.30	0.40	凝灰質粘土	緑灰	腐植物少量混入。 砂分混入。色調不均一。	5.15	3/33	1/14				
13.38	5.70	0.40	砂混り粘土	青灰	腐植物少量混入。 砂分多く混入。	5.48	6/50	1/2				
12.78	6.30	0.60				6.15	6/50	1/2				5/27
			細砂	褐灰	粒子不均一。 含水あり。 色調不均一。 全体に粘土分混入。	6.45			7.00			
9.18	9.90	3.80	粘土質細砂	暗黄灰	粒子不均一。 色調不均一。	8.15	2/30	1/11				
8.38	10.70	0.80	砂混りシルト	暗灰	全体に砂分混入。	8.45	2/34	1/14				
7.48	11.60	0.90	粘土混り細砂	緑灰	粒子不均一。 粘土分多く混入。	8.95	2/34	1/14				
6.28	12.80	1.20	砂質シルト	暗灰	腐植物極めて少量混入。 所々、細砂を不規則に薄く挟む。	8.48	15/30	4/5				
3.18	15.90	3.10	砂混り粘土	緑灰	砂分混入。 所々、固結状を呈する。	10.15	15/30	4/5				
2.78	16.30	0.40				10.45	15/30	4/5	11.00			
			細砂	暗灰	粒子は粗くやや不均一。 全体に非常に密に締まっている。	12.15	15/30	5/5				
						12.45	6/30	2/2				
						13.15	6/30	2/2				
						13.45	8/30	2/3				
						14.15	10/30	2/3				
						14.45	10/30	2/3				
						15.15	15/30	2/3				
						15.45	36/30	8/11				
						16.15	50/24	14/22				
						17.45	50/29	15/18				
						18.15	50/29	15/18				
						18.44	50/29	16/23				
						19.15	50/29	16/23				
						19.40	50/22	21/22				
						20.15	50/22	21/22				
						20.37	50/29	18/18				
						21.15	50/29	19/23				
						21.44	50/24	19/23				
						22.15	50/24	24/26				
						22.39	50/20	20/20				
						23.15	50/20	20/20				
						23.35	50/25	7/12				
						24.15	50/25	7/12				
						24.40	21/30	6/7				
						25.15	31/30	8/10				
						25.45	22/30	6/7				
						26.15	22/30	6/7				
						26.45	22/30	6/7				
						27.15	18/30	6/6				
						27.45	29/30	7/10				
						28.15	21/30	5/7				
						28.45	50/25	7/12				
						29.15	50/25	7/12				
						30.45	50/25	19/31				
						31.15	50/20	19/31				
						31.41	50/15	32/18				
						32.15	50/15	23/27				
						32.35	50/17	25/25				
						33.15	50/15	19/27				
						33.30	50/21	24/26				
						34.15	50/19	24/26				
						34.32	50/19	24/26				
						35.15	50/19	24/26				
						35.31	50/19	24/26				
						36.15	50/19	24/26				
						36.36	50/19	24/26				
						37.15	50/19	24/26				
						37.34						

土 質 柱 状 図

調査名 東京大学新領域創成科学研究科棟新築に伴う地盤調査
 調査位置 千葉県柏市柏の葉5丁目(東京大学構内)
 地点番号 NO.5
 標高 H=19.22 m
 機 種 TDC-10型(利根)
 総掘進長 25.45 m
 孔内水位 GL.-0.98 m
 調査年月日 平成 11年 5月25日
 ~ 平成 11年 5月26日
 担当者名 佐々木 秀志

標 尺	高 度	厚	観 察 記 録			標 準 貫 入 試 験				原 位 置 試 験	試 料 採 取	掘 進 日	
			土 質 記 号	土 質 名	色 調	記 事	深 度	打 撃 回 数 / 貫 入 量	10cmごとの 打 撃 回 数				N 値
18.62	0.60	0.60	表土	黒灰	砂質粘土主体。								
17.72	1.50	0.90	黒ボク	黒灰	腐植物少量混入。	1.15	2/43	1/22	1/21				
			ローム	暗褐灰	粘性強い、色調不均一。腐植物少量混入。	1.58 2.15	2/41	1/21	1/20				
16.12	3.10	1.60	凝灰質粘土	淡褐灰	腐植物少量混入。砂分少量混入。	2.58 3.15							
15.02	4.20	1.10	粘土	黄褐灰	腐植物少量混入。粒状の腐植物混入。	3.72 4.15	1/57	1/57					
14.12	5.10	0.90	凝灰質粘土	黒茶~暗灰	上部10cm程度、有機質粘土を挟む。腐植物少量混入。	4.75	1/60	1/60					
13.52	5.70	0.60	砂混り粘土	緑灰	腐植物少量混入。所々、砂分多く混入。	5.15	2/41	1/18	1/13				
12.82	6.40	0.70	細砂	暗褐灰	粒子不均一。7.0m付近、粘土分混入。また、含水多い。下部に従い粒子は粗くなる。	6.15 8.45 7.15 7.45 8.15	10/30	3	3	4			
			シルト質細砂	黄灰	シルトをシーム状に薄く挟む。	8.45 9.15 9.45	25/30	7	9	10			
9.17	10.05	3.65	シルト	青灰	砂分少量混入。	10.15 10.45	8/30	2	3	3			
8.62	10.60	0.55	粘土混り細砂	緑灰	粒子不均一。粘土分多く混入。	11.15	3/35	1/17	1/8				
7.82	11.40	0.80	シルト質細砂	青灰	粒子不均一。	11.50 12.15	4	6	7				
7.42	11.80	0.40	粘土	青灰	腐植物少量混入。細砂を不規則に薄く挟む。	12.45 13.15	12/30	3	3	4			
6.62	12.60	0.80	砂混り粘土	暗灰	腐植物少量混入。所々、砂分を多く混入。	13.45 14.15 14.45	10/30	2	3	3			
5.52	13.70	1.10	細砂	暗灰	粒子は比較的均一。17.0m付近より、非常に密に締まっている。	14.15 14.45 15.15	8/30	2	3	4			
3.02	16.20	2.50	粘土	暗灰	腐植物少量混入。砂分少量混入。	15.45 16.15	9/30	2	3	4			
1.32	17.90	1.70	シルト質細砂	青灰	上部、腐植物少量混入。粒子不均一。	16.45 17.15 17.40	37/30	12	12	13			
0.22	19.00	1.10	有機質粘土	黒茶	腐植物少量混入。腐植物を多く混入。	18.45 19.15	50/25	19	21	10/5			
-0.08	19.30	0.30	シルト質細砂	青灰	粒子不均一。下部に従い粒子は粗くなる。全体に非常に密に締まっている。	18.15 18.45 19.15	11/30	3	4	4			
-1.13	20.35	1.05	細砂	暗灰	23.5m以深、小礫少量混入。	20.45 21.15 21.30	19/30	3	6	30			
-4.88	24.10	3.75	シルト混り細砂	暗青灰	粒子不均一。全体にシルトを不規則に混入。	22.15 22.37 23.15 23.39	50/24	20	21	9/4			
-6.23	25.45	1.35				24.15 24.45 25.15	15/30	5	5	5			
						25.45	17/30	6	6	5			

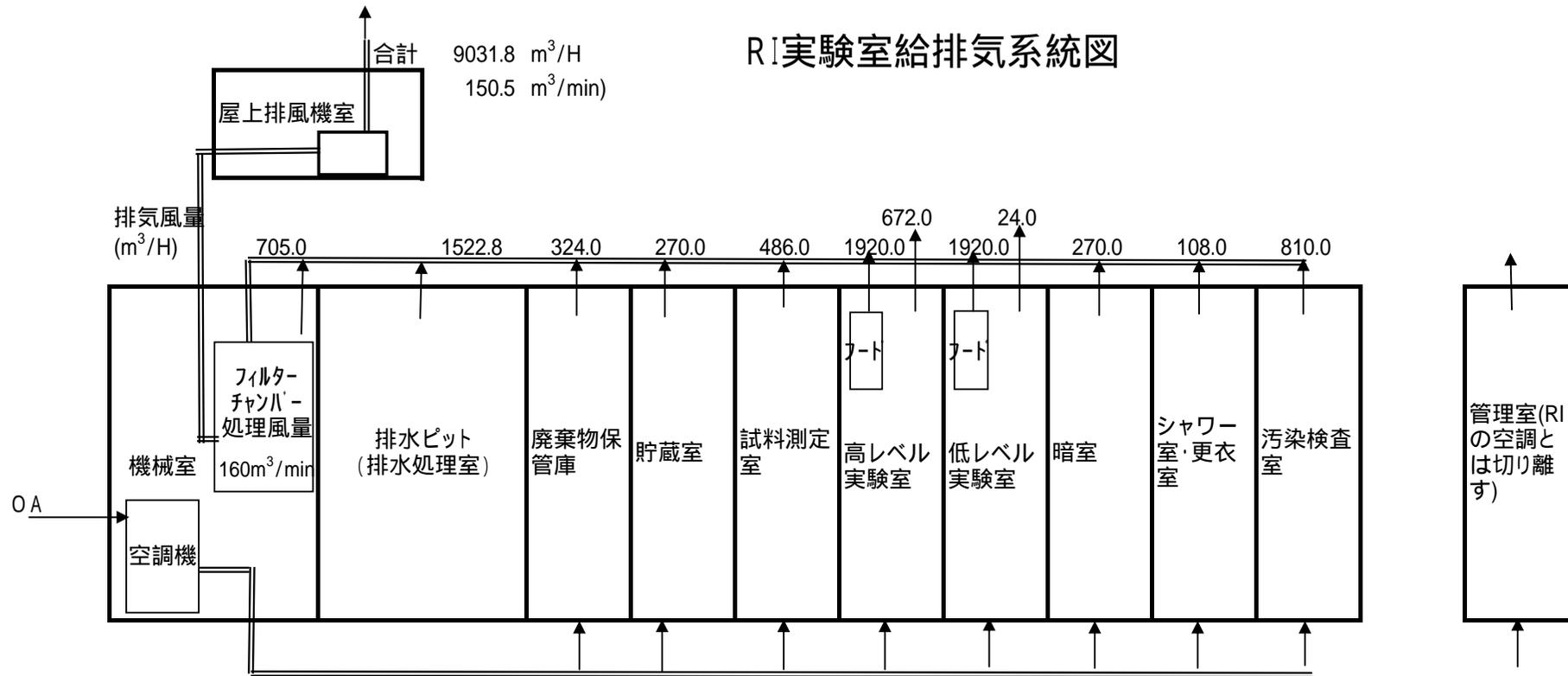
株式会社 十 質基礎コンサルタンツ

土 質 柱 状 図

調査名 東京大学新領域創成科学研究科棟新築に伴う地盤調査
 調査位置 千葉県柏市の葉5丁目(東京大学構内)
 地点番号 NO.6
 標高 H=19.14 m
 機種 TEC-1型(利根)
 総掘進長 45.33 m
 孔内水位 QL-0.98 m
 担当者名 松田秀雄
 調査年月日 平成 11年 6月 2日
 ~ 平成 11年 6月 8日

標尺	標高	層厚	土質記号	観察色調	観察記号	記号	深度	標準貫入試験			N値	原位置試験	試験番号	採取方法	掘進月日
								10cmごとの打撃回数	10 cm	30 cm					
1	18.34	0.80		黄土	黒褐色	ローン主体。腐植物混入。	1.15	2/25	1/12	1/23					
2	18.24	2.90		黒ボク	黒褐色	腐植物少量混入。	1.80	1/58	1/58						
3	15.34	3.80		砂混り粘土	淡褐色	上部15cm程度、凝灰質粘土を挟む。腐植物・炭化物混入。砂分混入。	2.73	1/61	1/61						
4	14.44	4.70		凝灰質粘土	黄褐色	腐植物・炭化物混入。色調不均一。	4.15	0/60	0/60	モルテン計法					
5	13.94	5.20		粘土	黄灰	腐植物混入。	4.95	0/54	0/54						
6	12.44	6.70		砂混り粘土	緑灰	腐植物少量混入。全体に砂分混入。	5.49	3/50	3/50						
7						7.0m、乳灰色で含水多い。	7.15	1/51	1/51						
8				細砂	黄茶	粒子不均一。	7.48	1/52	1/52						
9						全体に粘土少量混入。	8.15	1/52	1/52						
10	9.24	9.90		粘土質微細砂	暗茶灰	粒子不均一。局所的に塊状。全体に粘土分混入。	8.45	4/55	4/55						
11	8.34	10.80		砂質シルト	暗灰	腐植物少量混入。全体に砂分多く混入。	10.45	4/50	1/12						
12	7.44	11.70		粘土混り細砂	緑灰	粒子不均一。全体に粘土分混入。	11.15	13/50	4/54						
13	6.34	12.60					12.15	6/50	2/22						
14				砂質シルト	暗青灰~暗灰	硬質である。腐植物混入。全体に砂分混入。	13.15	10/50	3/43						
15							14.45	15/50	5/55						
16	3.34	15.80				上部、粘土分混入。	15.45	28/50	8/10	11					
17				細砂	暗灰	粒子不均一。	16.15	17/45	12/13	15					
18						18.0M付近より、非常に密に締まっている。	17.45	50/28	16/19	15					
19							18.43	50/25	17/20	13					
20	-0.98	20.10				最下部、小礫多く混入。	18.15	12/50	3/45	5					
21	-2.38	21.50		シルト質細砂	暗灰	2.0、4.0m、有機質粘土を薄く挟む。粒子不均一。シルト分混入。	20.45	13/50	3/55	5					
22							21.45	50/28	13/18	19					
23				細砂	暗灰	粒子不均一。下部に硬い。粒子は粗くなる。全体に非常に密に締まっている。	22.45	50/27	16/19	15					
24	-4.98	24.10					23.42	18/30	7/6	5					
25							24.15	20/50	5/7	8					
26							25.15	18/50	5/6	7					
27				シルト混り細砂	暗青灰	粒子不均一。所々、粒子の細かい部分が見られる。全体にシルト分混入。所々、シルトを不規則に挟む。	26.15	19/50	4/7	8					
28							27.15	18/50	5/6	5					
29							28.45	17/50	5/5	7					
30							29.45	20/50	5/7	8					
31	-11.48	30.60		硬質粘土	暗緑灰	硬質である。全体に細砂を少量混入。	30.45	19/50	6/6	7					
32	-12.58	31.70				上部、小礫を多く混入。	31.15	28/16	22/26	6					
33				細砂	暗灰	粒子不均一。全体に小礫を少量混入。全体に非常に密に締まっている。	32.15	50/12	31/19	2					
34							33.27	50/14	29/21	4					
35	-15.78	34.90					34.29	30/9	7/14						
36							35.45	18/50	6/6	6					
37				粘土	青灰	全体に硬質である。砂少量混入。腐植物混入。所々、細砂を薄く挟む。	36.15	17/50	5/6	6					
38							37.45	19/50	6/7	6					
39	-20.18	39.30					38.45	50/8	19/23	6					
40							39.43	50/22	19/25	6					
41						粒子不均一。	40.15	50/24	15/20	15					
42				細砂	暗灰~暗青灰	4.1、0m付近に硬い。粒子は粗くなる。	41.39	50/23	18/23	3					
43						全体に非常に密に締まっている。	42.38	50/20	20/30						
44							43.36	50/26	24/6						
45	-26.18	45.33				4.5、0m付近より、緑灰色である。また、貝殻片混入。	44.15	50/18	30/29	8					
							45.33								

RI実験室給排気系統図



資料11

RI実験室排気風量表

各部屋とも H = 2700mmとする。但し機械室は4700H、床下排水ピットは4000Hとする

	室内広さ m ²	室内容積 m ³	排気風量 m ³ /H	換気回数 回/H	給気系統	給気風量 m ³ /H	備考
中高レベル実験室	32	86.4	2592.0	30			フード1台(フード1台の風量は32m ³ /分)
低レベル実験室	24	64.8	1944.0	30			フード1台(フード1台の風量は32m ³ /分)
暗室	5	13.5	270.0	20			
試料測定室	9	24.3	486.0	20			
貯蔵室	5	13.5	270.0	20			
廃棄物保管庫	6	16.2	324.0	20			
汚染検査室・廊下	15	40.5	810.0	20			
管理室・管理室前 ホール	13						RIの給排気系統からは除外する。
シャワー室・更衣室	2	5.4	108.0	20			
空調機械室	25	117.5	705.0	6			
排水ピット	54	253.8	1522.8	6			
合計			9031.8				

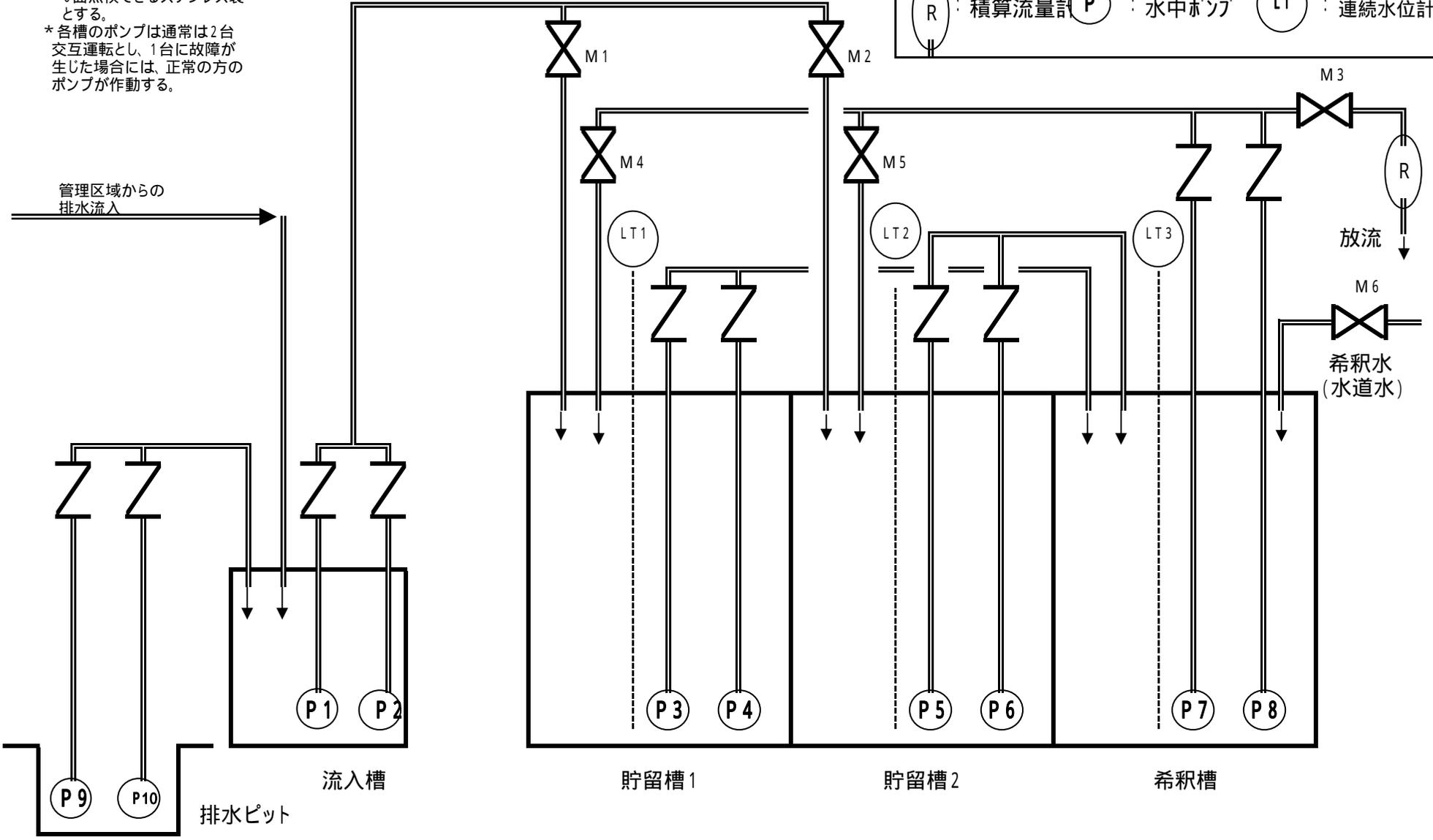
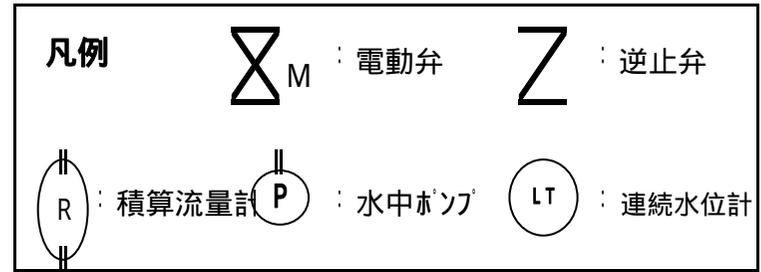
(150.5)m³/min

排気フィルターチャンバーの処理風量の能力は
160m³/分とする。

資料12

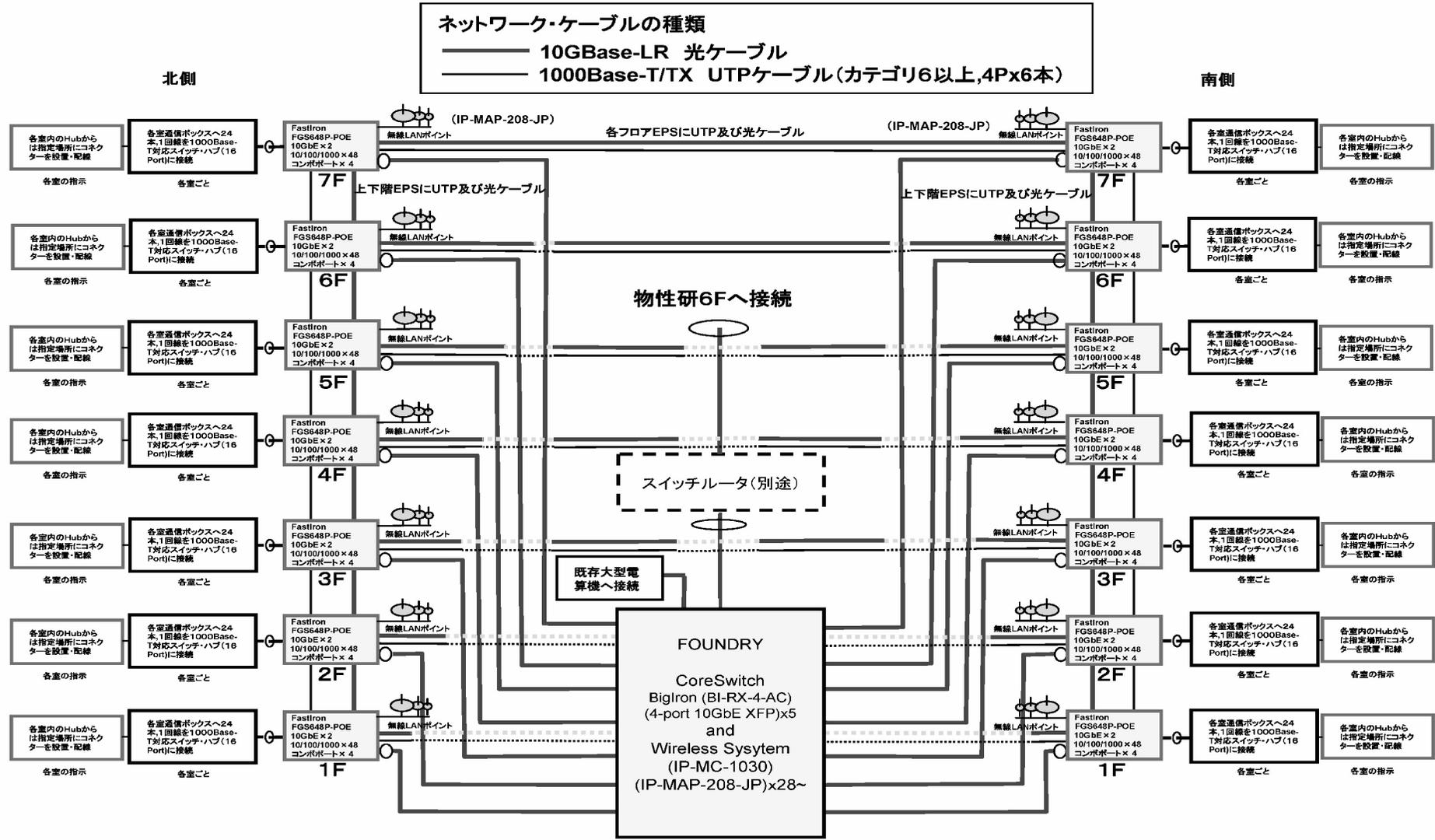
RI実験室排水系統図

- * 流入槽、貯留槽、希釈槽は6面点検できるステンレス製とする。
- * 各槽のポンプは通常は2台交互運転とし、1台に故障が生じた場合には、正常の方のポンプが作動する。



資料13

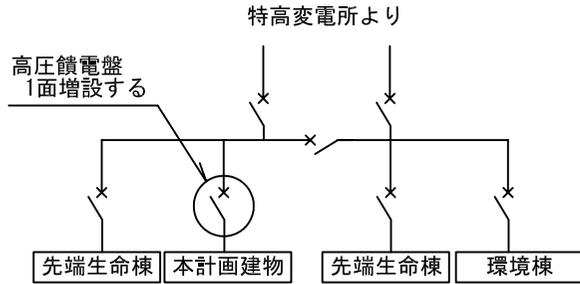
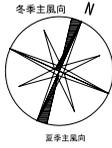
ネットワーク構成図



資料 14

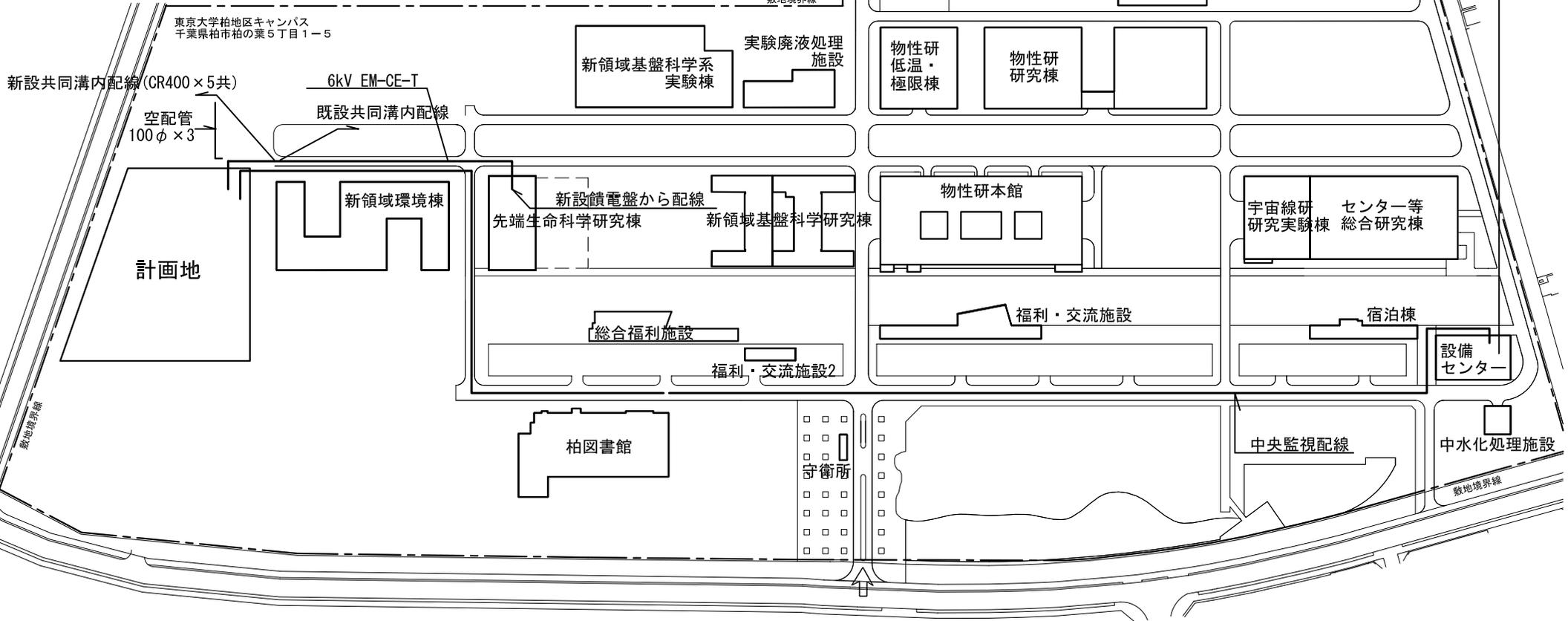
※ルーター等の型番は参考として記載したもので、選定に当ってはこれと同等以上のものとする。

先端生命科学研究棟切替所単線結線図



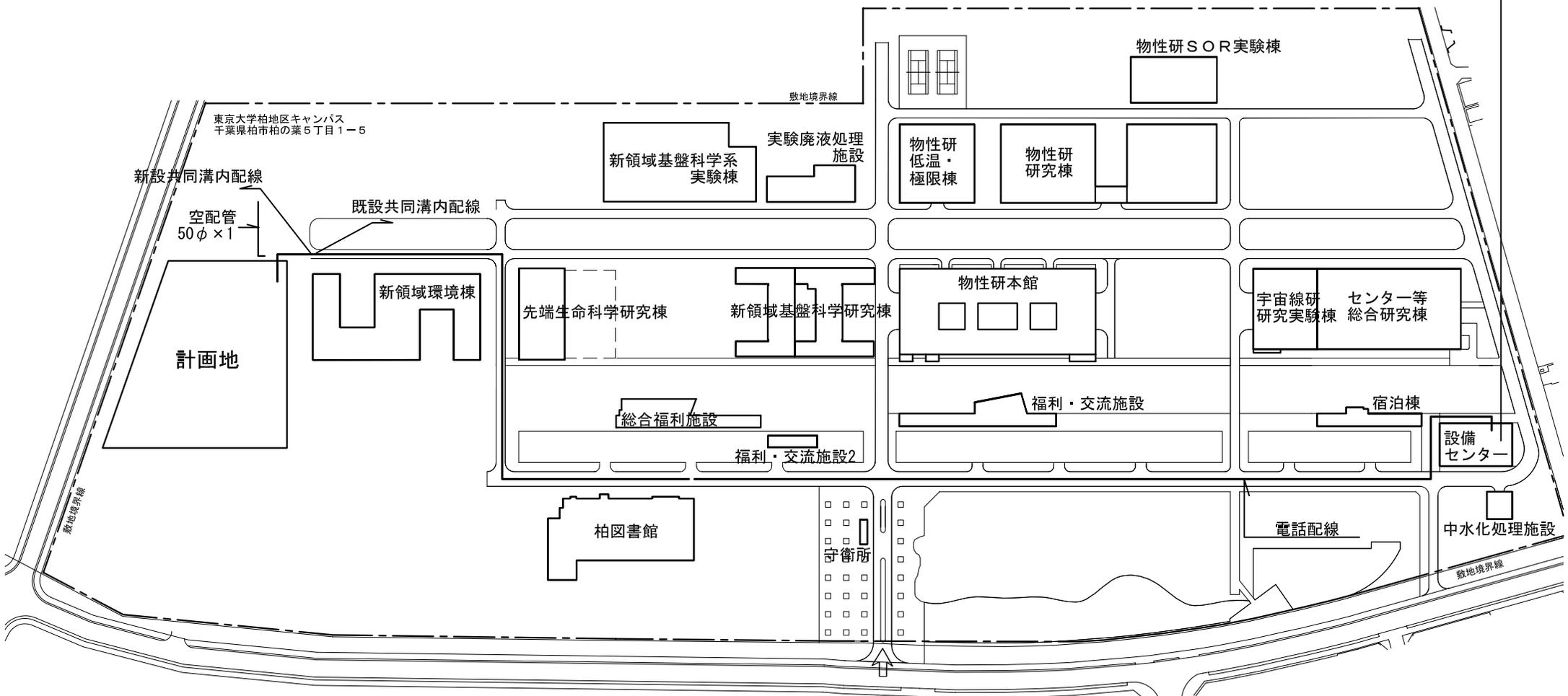
既設中央監視設備改修

- ・本計画建物電気室の各種状態表示が出来るよう改修する。(既設設備製造会社：株東芝)



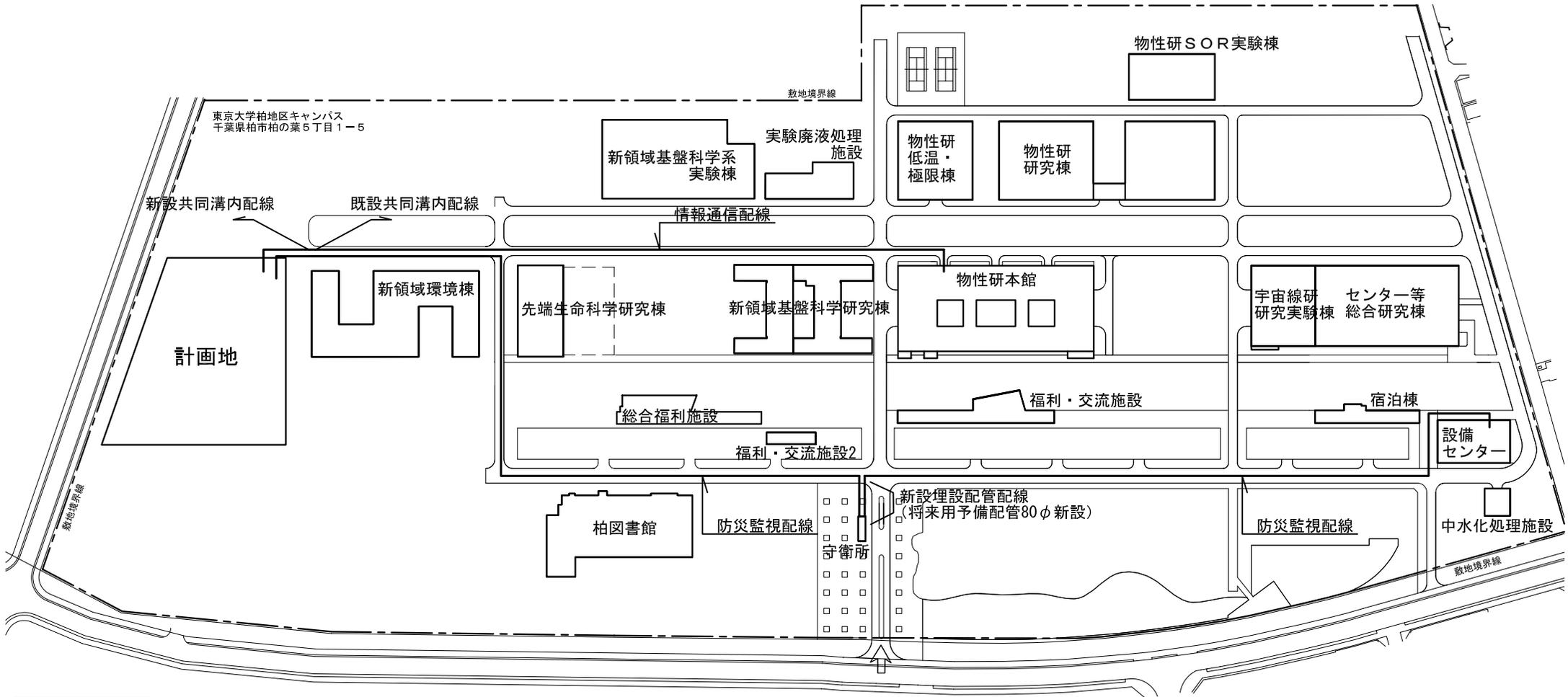
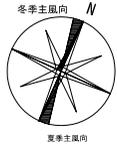


既設電話交換機改修
 ・本計画建物の内線パッケージ
 及びPHS用パッケージ増設
 (既設設備製造会社：(株)日立製作所)



資料 16

柏キャンパス既設電話交換機位置図 S=1:3000

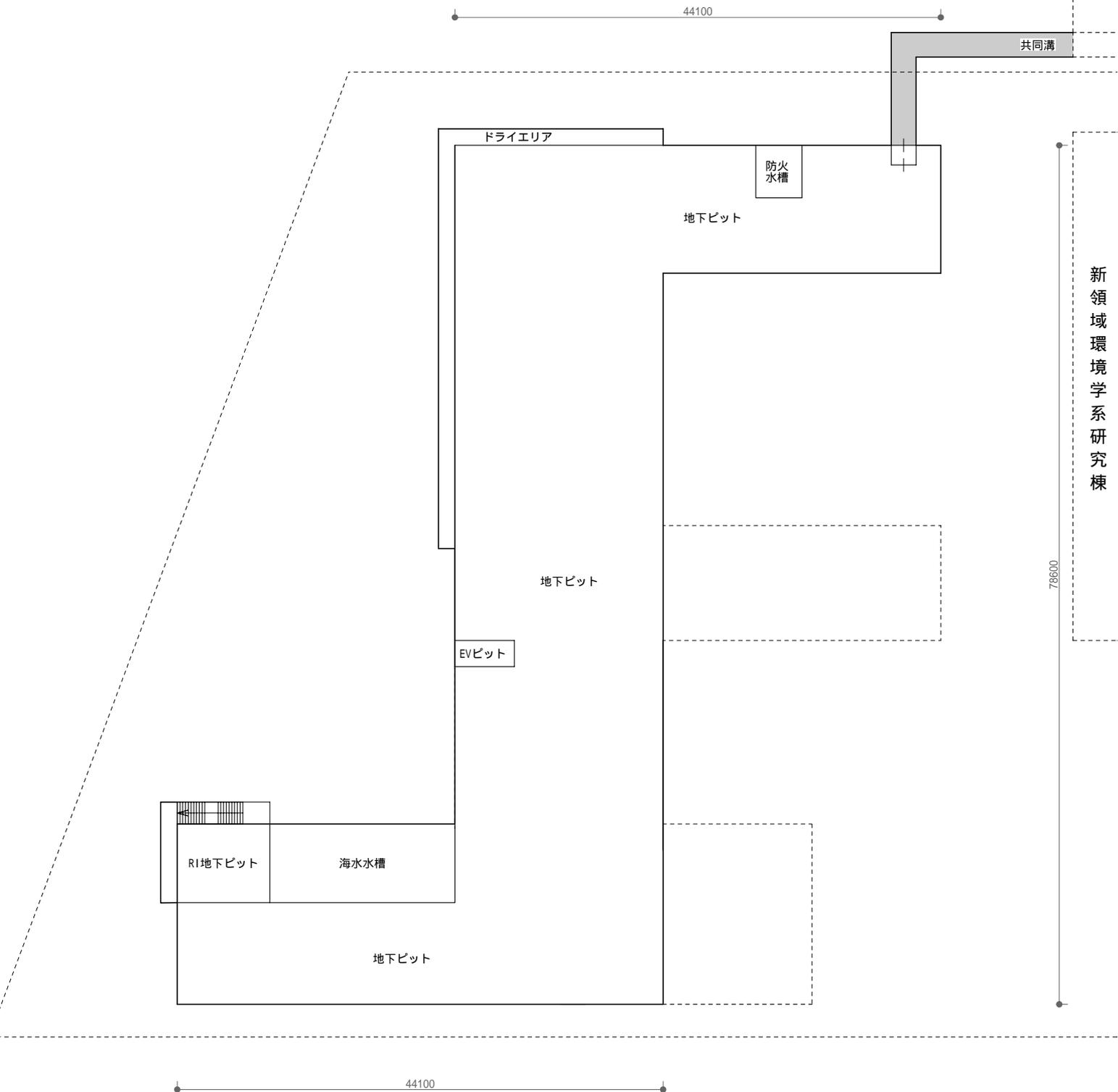


資料 17

柏キャンパス既設LANHUB室・防災監視位置図

S = 1 : 3000

(既設共同溝の位置は要確認)
新設 既設



新領域環境学系研究棟

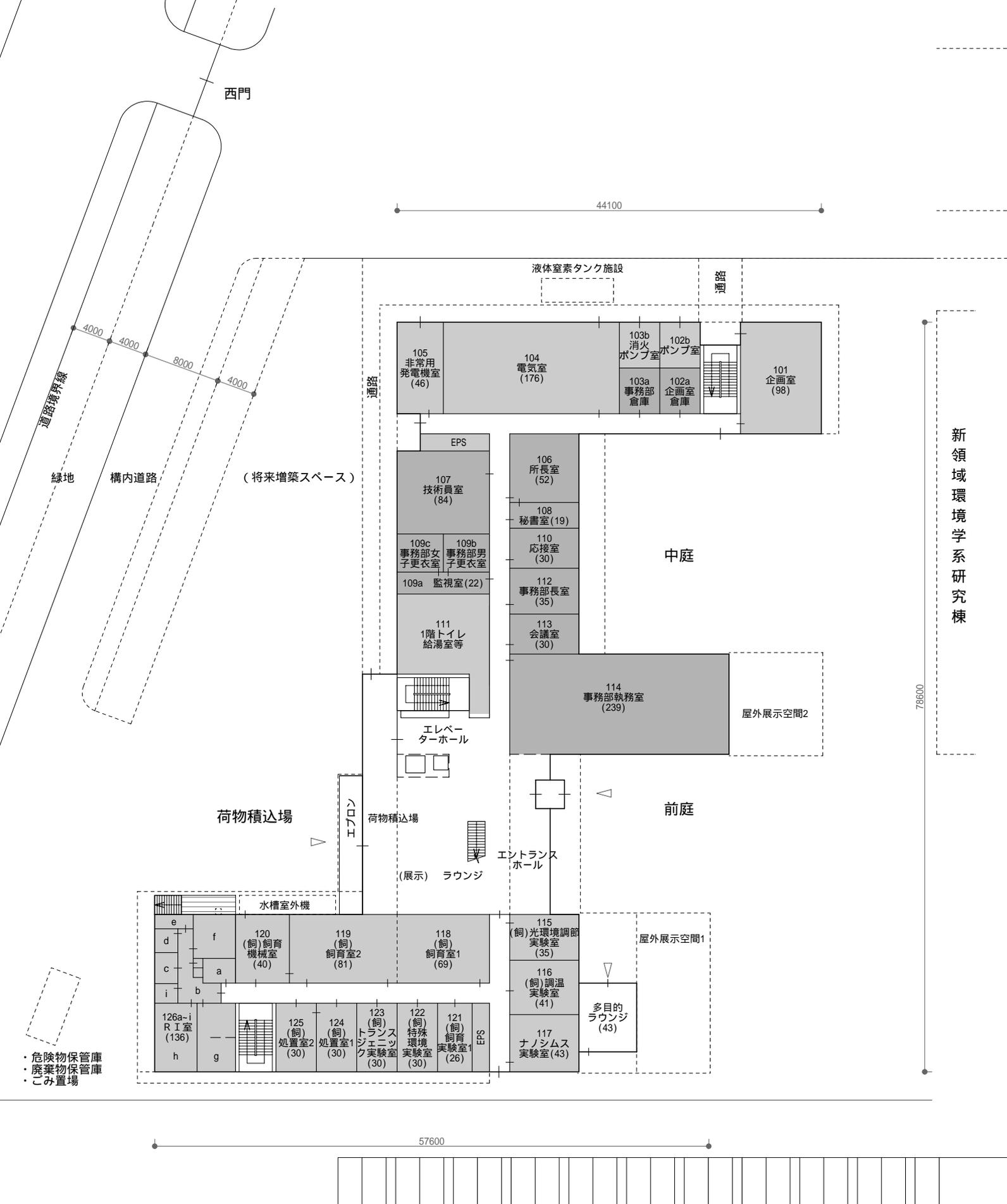
78600

【各室の名称等の凡例】 310生命談話室の例
 310 : 部屋番号
 (生) : 所属する部門/センター等を示す(略号は右表参照)
 生命談話室 : 部屋用途(エリア)の名称
 (30) : 部屋面積(単位: . .)
 ・小部屋がある場合
 a,b,c... : 英小文字は大部屋の中の小部屋を示す。
 (但し、界壁はパーティション、通常の壁のどちらもある)

【部門等の略号】
 (物) : 海洋物理学部門
 (資) : 海洋生物資源部門
 (化) : 海洋化学部門
 (態) : 海洋生態系動態部門
 (底) : 海洋底科学部門
 (生) : 生命科学部門
 (国) : 海洋科学国際共同研究センター
 (環) : 生物圏環境学分野
 (飼) : 海洋生物飼育

地下ピット 参考プラン 縮尺1/500

資料18



新領域環境学系研究棟

76600

57600

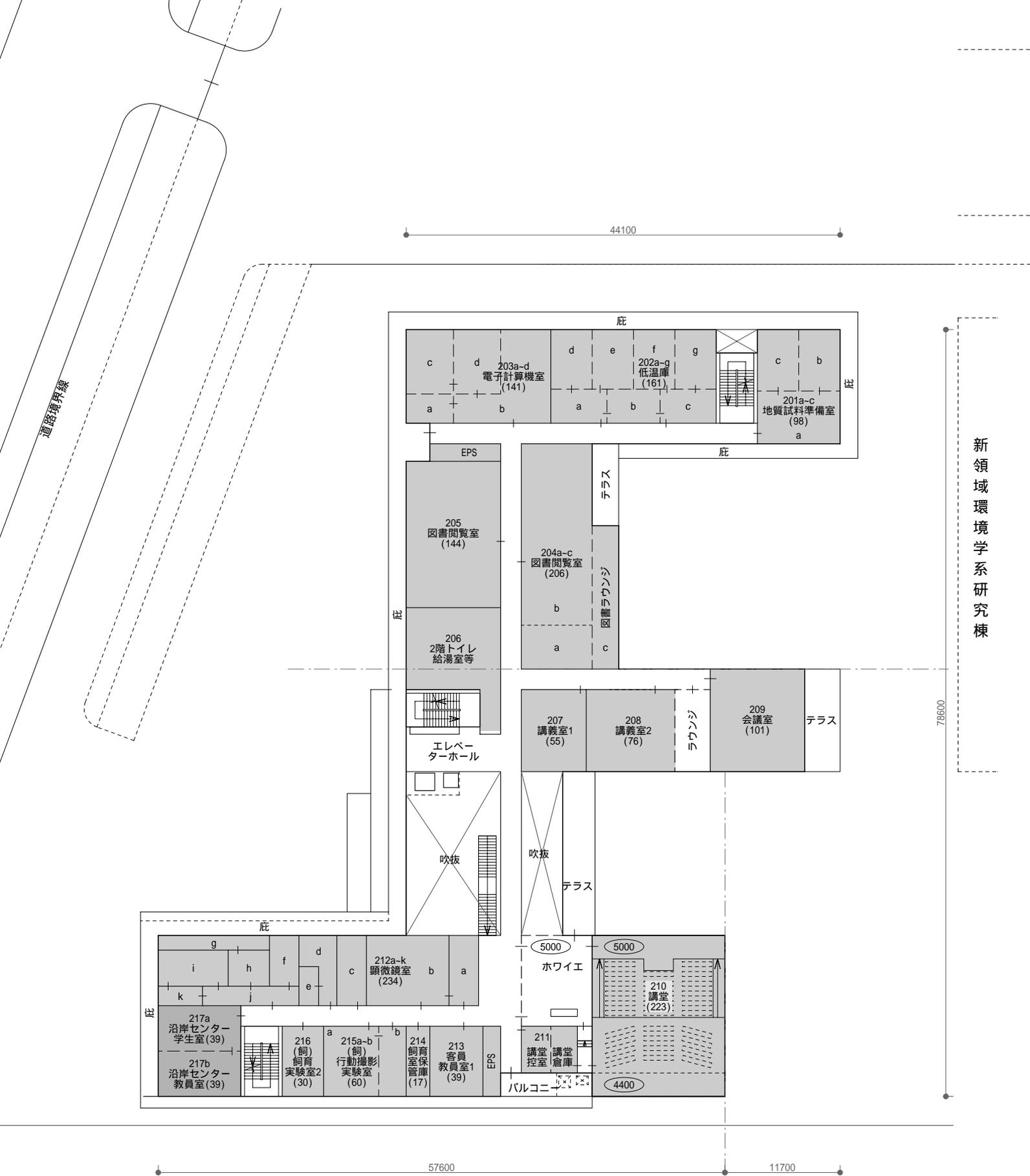
【各室の名称等の凡例】 310生命談話室の例
 310 : 部屋番号
 (生) : 所属する部門/センター等を示す(略号は右表参照)
 生命談話室 : 部屋用途(エリア)の名称
 (30) : 部屋面積(単位: . .)
 ・小部屋がある場合
 a, b, c, . . . : 英小文字は大部屋の中の小部屋を示す。
 (但し、界壁はパーティション、通常の壁のどちらもある)

【部門等の略号】
 (物) : 海洋物理学部門
 (資) : 海洋生物資源部門
 (化) : 海洋化学部門
 (態) : 海洋生態系動態部門
 (底) : 海洋底科学部門
 (生) : 生命科学部門
 (環) : 海洋科学国際共同研究センター
 (環) : 生物圏環境学分野
 (飼) : 海洋生物飼育

駐車場

1階 参考プラン 縮尺1/500

資料18



新領域環境学系研究棟

78600

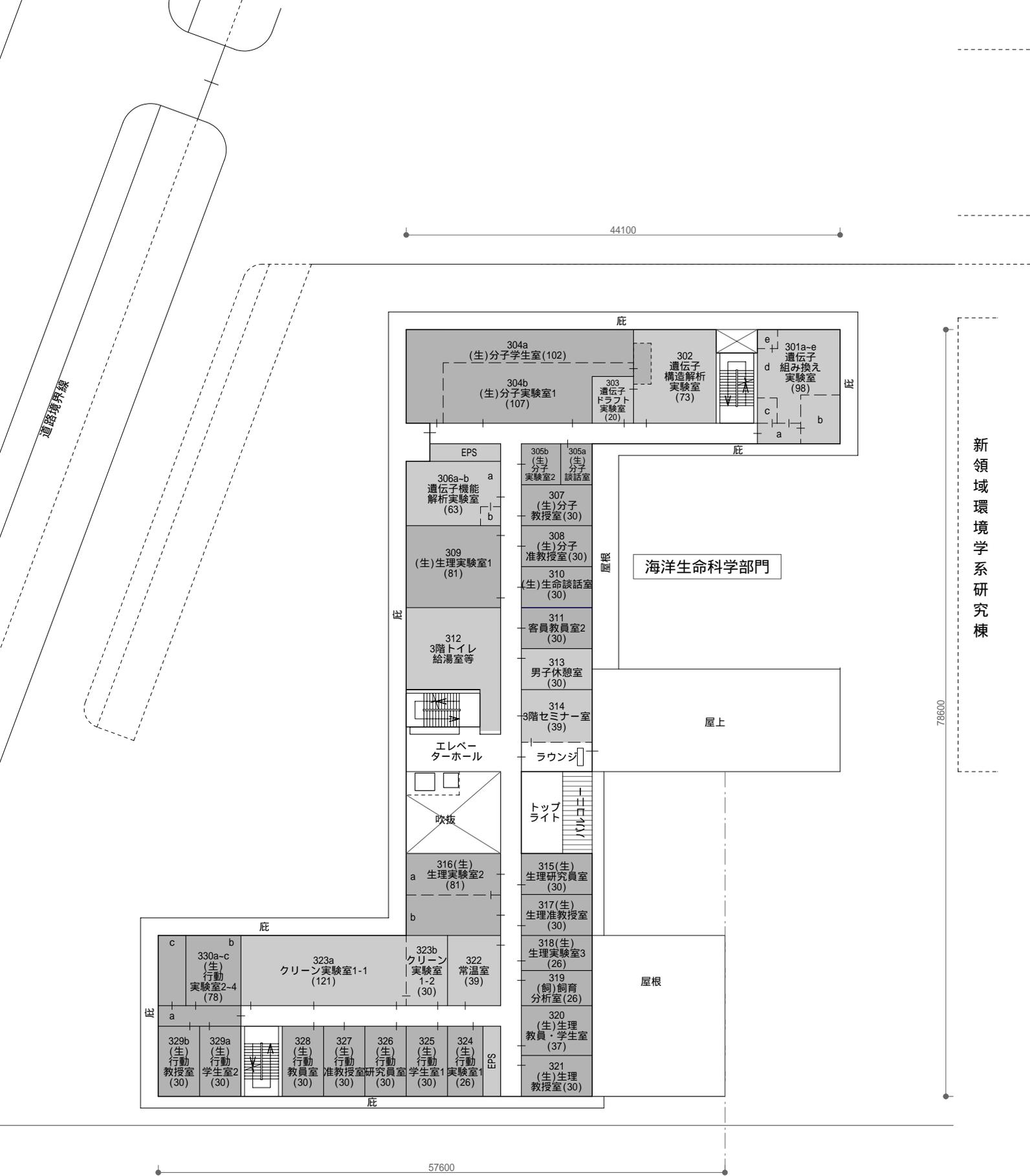
国際沿岸海洋研究センター

【各室の名称等の凡例】 310生命談話室の例
 310 : 部屋番号
 (生) : 所属する部門/センター等を示す(略号は右表参照)
 生命談話室 : 部屋用途(エリア)の名称
 (30) : 部屋面積(単位: . .)
 ・小部屋がある場合
 a, b, c . . . : 英小文字は大部屋の中の小部屋を示す。
 (但し、界壁はパーティション、通常の壁のどちらもある)

【部門等の略号】
 (物) : 海洋物理学部門
 (資) : 海洋生物資源部門
 (化) : 海洋化学部門
 (態) : 海洋生態系動態部門
 (底) : 海洋底科学部門
 (生) : 生命科学部門
 (国) : 海洋科学国際共同研究センター
 (環) : 生物圏環境学分野
 (飼) : 海洋生物飼育

2階 参考プラン 縮尺1/500

資料18



新領域環境学系研究棟

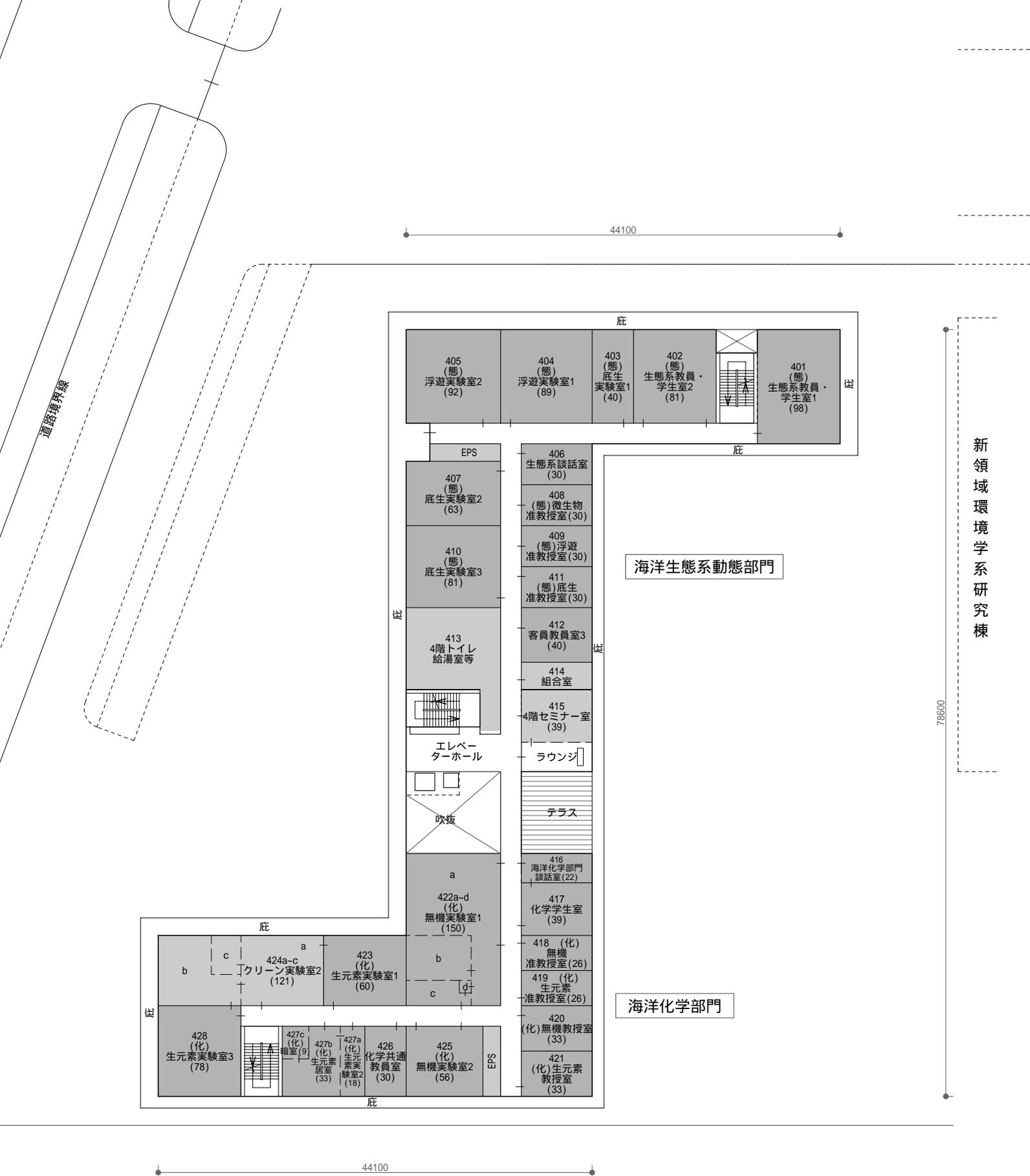
78600

【各室の名称等の凡例】 310生命談話室の例
 310 : 部屋番号
 (生) : 所属する部門/センター等を示す(略号は右表参照)
 生命談話室 : 部屋用途(エリア)の名称
 (30) : 部屋面積(単位: . . .)
 ・小部屋がある場合
 a, b, c, . . . : 英小文字は大部屋の中の小部屋を示す。
 (但し、界壁はパーティション、通常の壁のどちらもある)

【部門等の略号】
 (物) : 海洋物理学部門
 (資) : 海洋生物資源部門
 (化) : 海洋化学部門
 (態) : 海洋生態系動態部門
 (底) : 海洋底科学部門
 (生) : 生命科学部門
 (国) : 海洋科学国際共同研究センター
 (環) : 生物圏環境学分野
 (飼) : 海洋生物飼育

3階 参考プラン 縮尺1/500

資料18

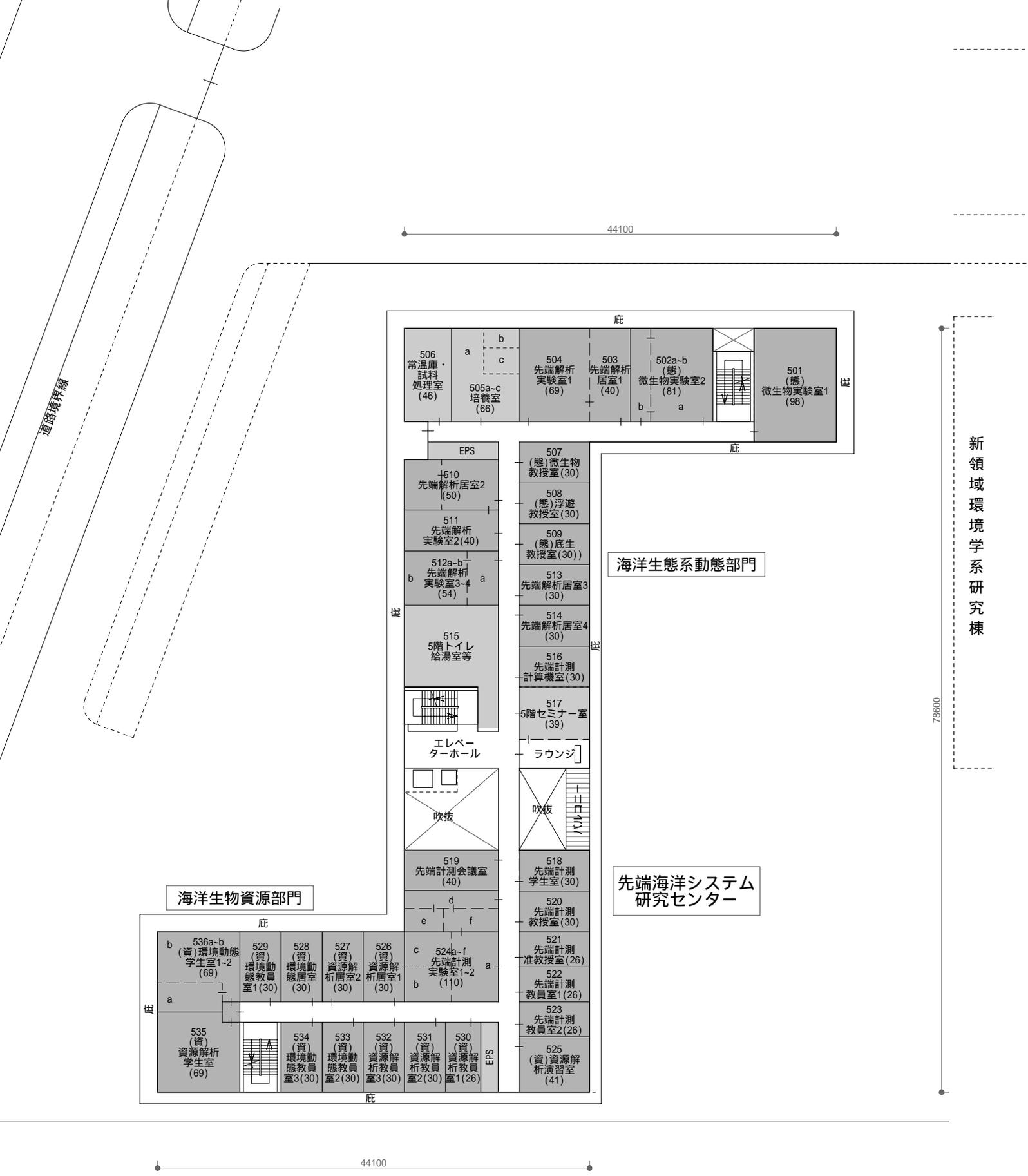


【各室の名称等の凡例】 310生命談話室の例
 310 : 部屋番号
 (生) : 所属する部門/センター等を示す(略号は右表参照)
 生命談話室 : 部屋用途(エリア)の名称
 (30) : 部屋面積(単位: . .)
 ・小部屋がある場合
 a, b, c, . . . : 英小文字は大部屋の中の小部屋を示す。
 (但し、境界はパーティション、通常の壁のどちらもある)

【部門等の略号】
 (物) : 海洋物理学部門
 (資) : 海洋生物資源部門
 (化) : 海洋化学部門
 (態) : 海洋生態系動態部門
 (底) : 海洋底科学部門
 (生) : 生命科学部門
 (国) : 海洋科学国際共同研究センター
 (環) : 生物圏環境学分野
 (飼) : 海洋生物飼育

4階 参考プラン 縮尺1/500

資料18



78600

【各室の名称等の凡例】 310生命談話室の例
 310 : 部屋番号
 (生) : 所属する部門/センター等を示す(略号は右表参照)
 生命談話室 : 部屋用途(エリア)の名称
 (30) : 部屋面積(単位: . .)
 ・小部屋がある場合
 a, b, c, . . . : 英小文字は大部屋の中の小部屋を示す。(但し、隔壁はパーティション、通常の壁のどちらもある)

【部門等の略号】
 (物) : 海洋物理学部門
 (資) : 海洋生物資源部門
 (化) : 海洋化学部門
 (態) : 海洋生態系動態部門
 (底) : 海洋底科学部門
 (生) : 生命科学部門
 (国) : 海洋科学国際共同研究センター
 (環) : 生物圏環境学分野
 (飼) : 海洋生物飼育

5階 参考プラン 縮尺1/500

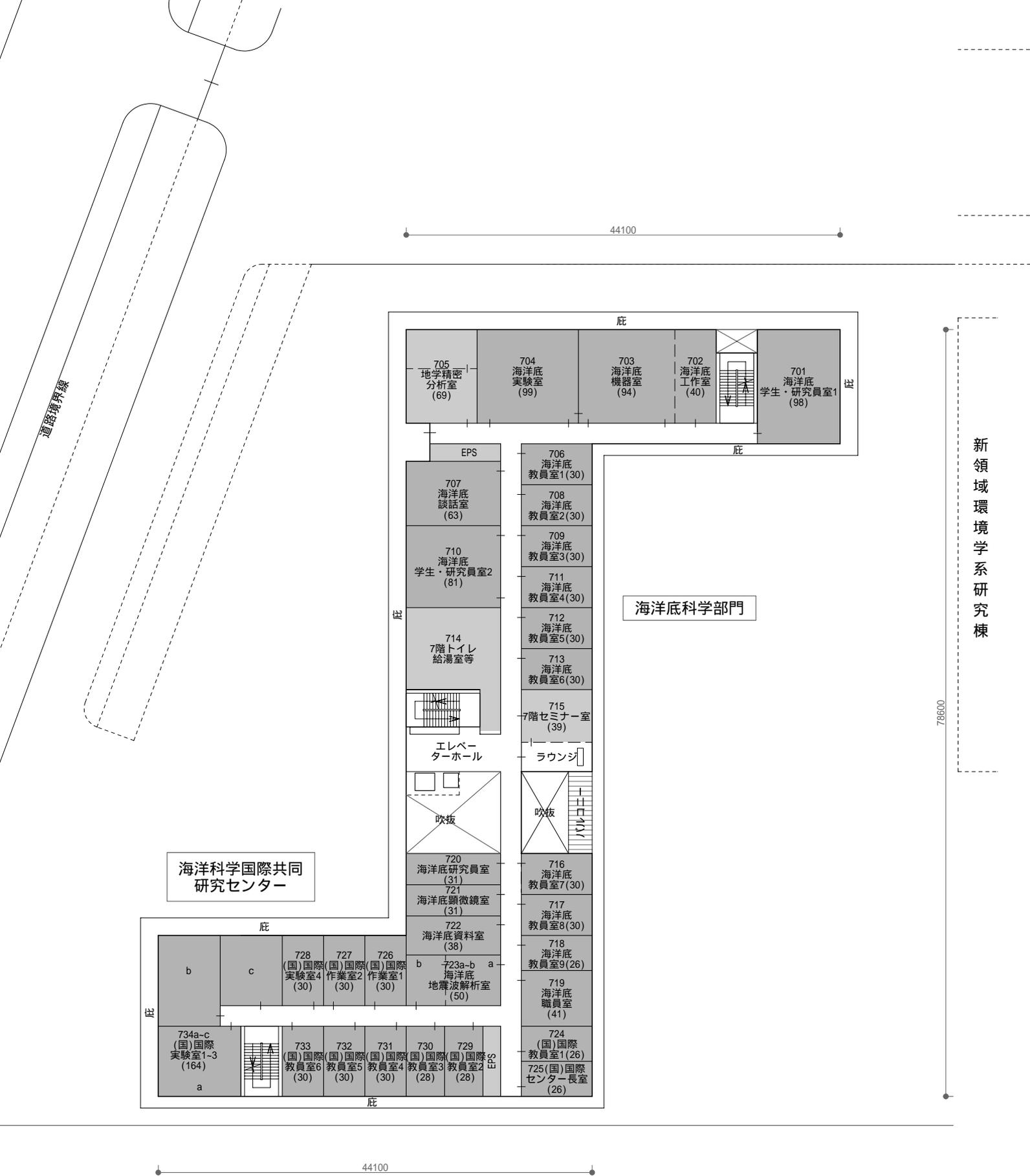


【各室の名称等の凡例】 310生命談話室の例
 310 : 部屋番号
 (生) : 所属する部門/センター等を示す(略号は右表参照)
 生命談話室 : 部屋用途(エリア)の名称
 (30) : 部屋面積(単位: . .)
 ・小部屋がある場合
 a, b, c, . . . : 英小文字は大部屋の中の小部屋を示す。
 (但し、界壁はパーティション、通常の壁のどちらもある)

【部門等の略号】
 (物) : 海洋物理学部門
 (資) : 海洋生物資源部門
 (化) : 海洋化学部門
 (態) : 海洋生態系動態部門
 (底) : 海洋底科学部門
 (生) : 生命科学部門
 (国) : 海洋科学国際共同研究センター
 (環) : 生物圏環境学分野
 (飼) : 海洋生物飼育

6階 参考プラン 縮尺1/500

資料18



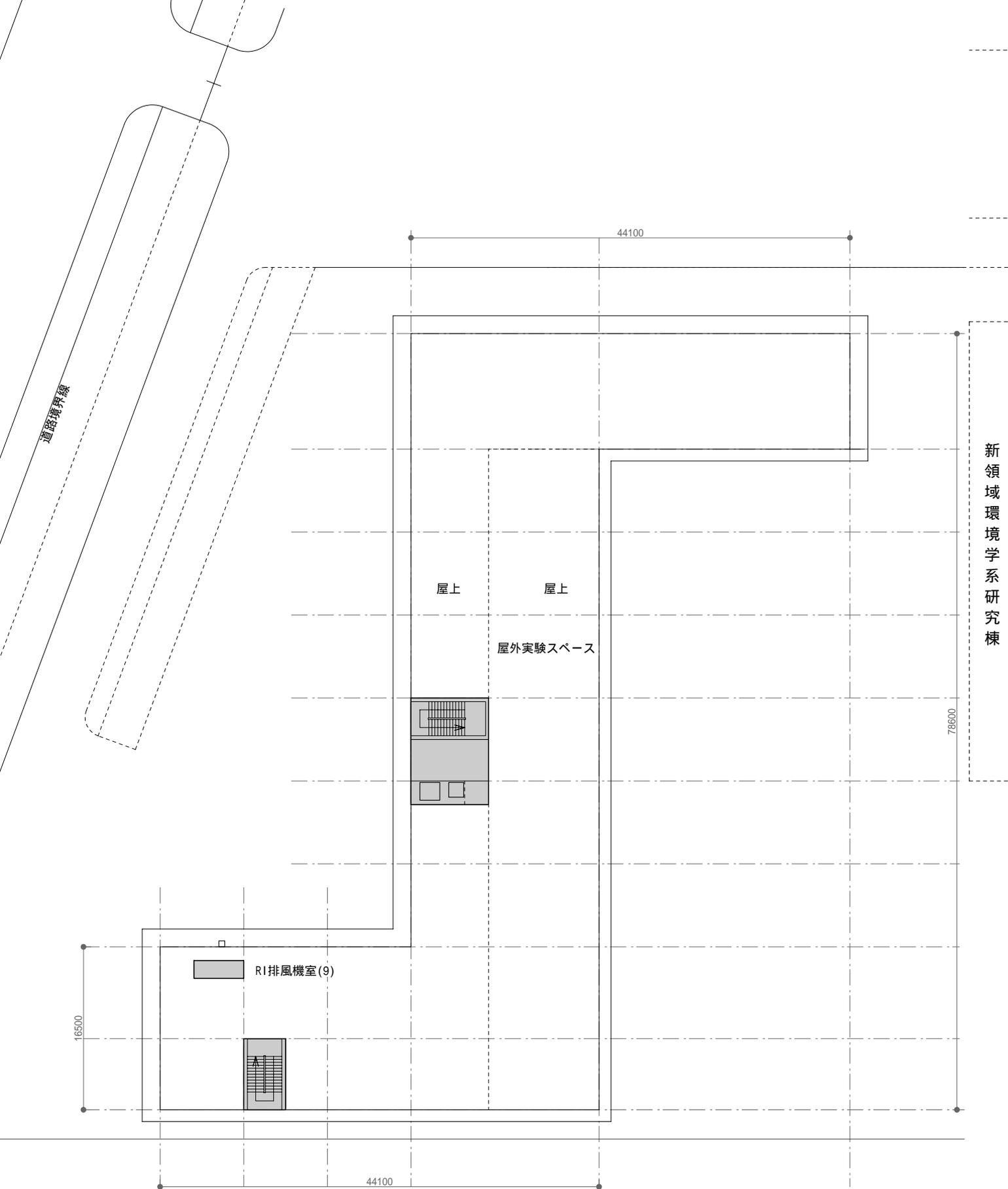
新領域環境学系研究棟

【各室の名称等の凡例】 310生命談話室の例
 310 : 部屋番号
 (生) : 所属する部門/センター等を示す(略号は右表参照)
 生命談話室 : 部屋用途(エリア)の名称
 (30) : 部屋面積(単位: . .)
 ・小部屋がある場合
 a, b, c, . . . : 英小文字は大部屋の中の小部屋を示す。(但し、界壁はパーティション、通常の壁のどちらもある)

【部門等の略号】
 (物) : 海洋物理学部門
 (資) : 海洋生物資源部門
 (化) : 海洋化学部門
 (態) : 海洋生態系動態部門
 (底) : 海洋底科学部門
 (生) : 生命科学部門
 (国) : 海洋科学国際共同研究センター
 (環) : 生物圏環境学分野
 (飼) : 海洋生物飼育

7階 参考プラン 縮尺1/500

資料18



新領域環境学系研究棟

【各室の名称等の凡例】 310生命談話室の例
 310 : 部屋番号
 (生) : 所属する部門/センター等を示す(略号は右表参照)
 生命談話室 : 部屋用途(エリア)の名称
 (30) : 部屋面積(単位: . .)
 ・小部屋がある場合
 a,b,c... : 英小文字は大部屋の中の小部屋を示す。
 (但し、界壁はパーティション、通常の壁のどちらもある)

【部門等の略号】
 (物) : 海洋物理学部門
 (資) : 海洋生物資源部門
 (化) : 海洋化学部門
 (態) : 海洋生態系動態部門
 (底) : 海洋底科学部門
 (生) : 生命科学部門
 (国) : 海洋科学国際共同研究センター
 (環) : 生物圏環境学分野
 (飼) : 海洋生物飼育

屋上 参考プラン 縮尺1/500

資料18

